

帳票システム構築支援 uCosminexus ^{イーユーアール} EUR

はじめての帳票作成

入門書

3020-7-532

マニュアルの購入方法

このマニュアル，および関連するマニュアルをご購入の際は，
巻末の「ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内」をご参
照ください。

対象製品

適用 OS : Windows Vista , Windows XP

P-26D2-5684 uCosminexus EUR Designer 08-00

P-26D2-5784 uCosminexus EUR Developer 08-00

これらの製品は、ISO9001 および TickIT の認証を受けた品質マネジメントシステムで開発されました。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

Microsoft Office Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft Office Word は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft Word は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

発行

2008 年 12 月 (第 1 版) 3020-7-532

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2008, Hitachi, Ltd.

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトの概要および使い方について説明したものです。

- P-26D2-5684 uCosminexus EUR：イーユーアール Designer
- P-26D2-5784 uCosminexus EUR：イーユーアール Developer

対象読者

このマニュアルは、Windows(R) 環境で EUR 帳票作成機能を使用して帳票を作成する方で、EUR 帳票作成機能をまだ使用したことのない方を対象としています。

また、次に示す内容を理解されていることを前提としています。

- Windows の基本操作

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

第 1 章 EUR 帳票作成機能の紹介

EUR 帳票作成機能の概要と、帳票の簡単な作成手順について説明しています。

第 2 章 帳票を作成してみよう

EUR 帳票作成機能での帳票の作成手順について説明しています。

第 3 章 便利な使い方と困ったときの対処

EUR 帳票作成機能で帳票を作成するときの便利な使い方と、困ったときの対処について説明しています。

関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- uCosminexus EUR 概説 (3020-7-531)
- uCosminexus EUR 帳票設計 (3020-7-533)
- uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)(3020-7-534)
- uCosminexus EUR クライアント帳票出力 (3020-7-535)
- uCosminexus EUR サーバ帳票出力 (3020-7-536)
- uCosminexus EUR メッセージ (3020-7-537)

このマニュアルでのマニュアル名表記

このマニュアルでは、マニュアル名について、次のように表記しています。

マニュアル名	表記
uCosminexus EUR 概説	EUR 概説
uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票設計

はじめに

マニュアル名	表記
uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)
uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力
uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力
uCosminexus EUR メッセージ	EUR メッセージ

このマニュアルでのマウス操作方法の表記

このマニュアルでは、マウスの操作方法の表記を次のように定義しています。

マウスの操作	意味
クリック	右手用に設定したマウスの場合、左ボタンを押すことを示します。 左手用に設定したマウスの場合、右ボタンを押すことを示します。
右クリック	右手用に設定したマウスの場合、右ボタンを押すことを示します。 このマニュアルでは、右手用のマウスの設定に合わせた表記をしています。 左手用に設定したマウスの場合、左ボタンを押す「左クリック」に読み替えてください。

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、uCosminexus EUR の各製品について、次のように表記しています。

製品名称	表記	
uCosminexus EUR Designer	EUR Designer	
uCosminexus EUR Developer	EUR Developer	
uCosminexus EUR Viewer	EUR Viewer	
uCosminexus EUR Print Service	EUR Print Service	
uCosminexus EUR Print Service Enterprise	EUR Print Service Enterprise	
uCosminexus EUR Print Service - Cipher option	EUR Print Service - Cipher option	
uCosminexus EUR Form Service	EUR Form Service	EUR Form
uCosminexus EUR Form Service - Data Store option	EUR Form Service - Data Store option	

このマニュアルでは、製品名称などについて、次のように表記しています。

製品名称	表記	
Microsoft(R) Excel Version 2002 Microsoft(R) Office Excel 2003 Microsoft(R) Office Excel 2007	Excel	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	Windows Vista	Windows

製品名称	表記
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition Operating System	Windows XP
Microsoft(R) Word Version 2002 Microsoft(R) Office Word 2003 Microsoft(R) Office Word 2007	Word

このほか、このマニュアルでは、次に示す表記を使用しています。

- EUR の各製品を区別する必要がない場合は、総称して EUR と表記します。
- EUR Designer, EUR Developer の帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能」と表記します。
- EUR Developer の EUR Form 帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票)」と表記します。
- EUR Designer, EUR Developer, EUR Viewer のクライアント環境での帳票出力機能を「EUR クライアント帳票出力機能」と表記します。
- EUR Developer, EUR Print Service, EUR Print Service Enterprise のサーバ環境での帳票出力機能を「EUR サーバ帳票出力機能」と表記します。
- メニュー項目, ダイアログ名, ダイアログのボタンなどは [] で、またキーボードのキーは < > で囲んで表記します。

このマニュアルで使用する略語

このマニュアルで使用する英略語の正式名称を次に示します。

英略語	正式名称
CSV	<u>C</u> omma <u>S</u> eparated <u>V</u> alue
EUR	End-User Reporting
ISO	<u>I</u> nternational <u>O</u> rganization for <u>S</u> tandardization
OS	<u>O</u> perating <u>S</u> ystem

図中で使用する記号

このマニュアルの図中で使用している記号を、次のように定義します。

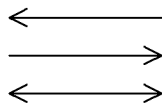
- クライアントPC



- 入出力の動作



- 制御の流れ



- データの流れ



- 帳票

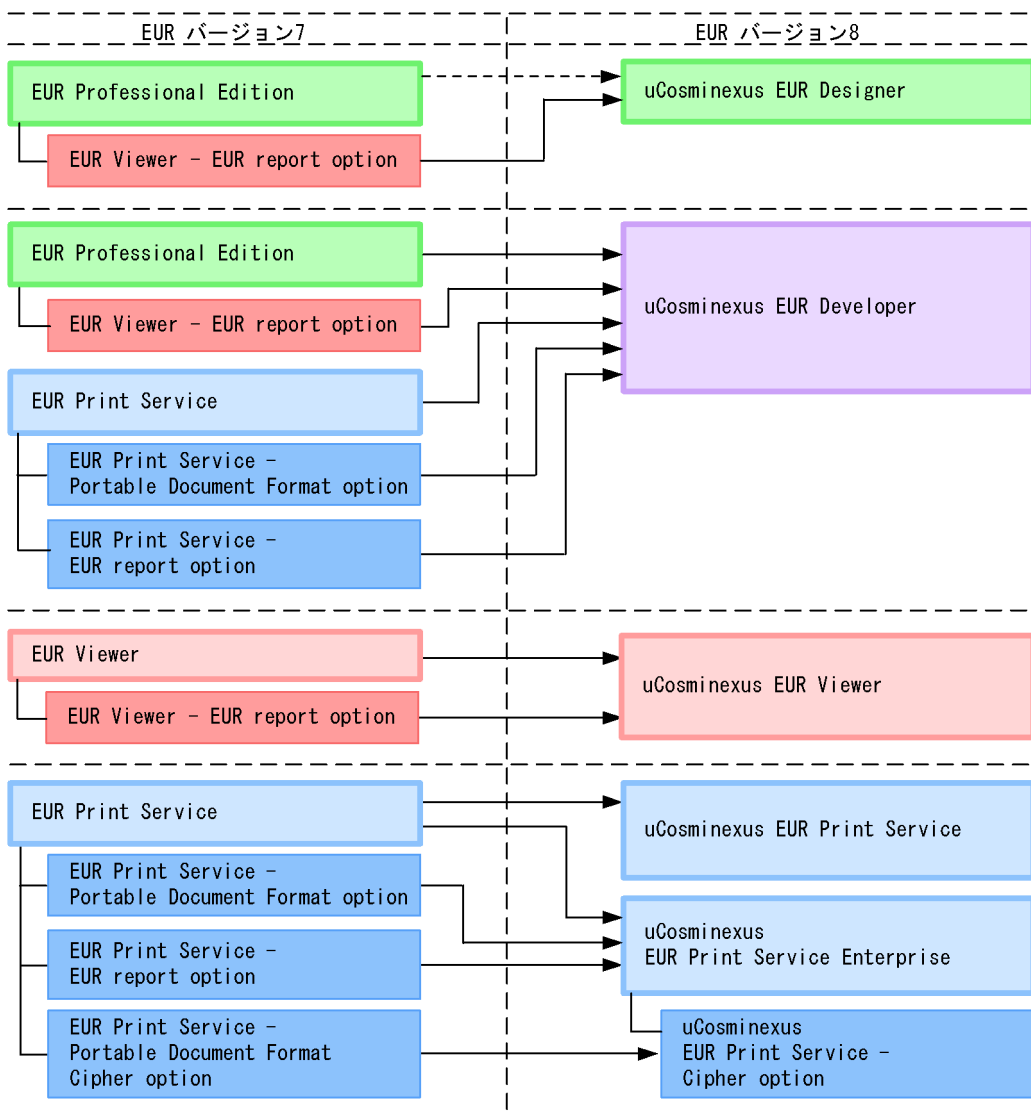


- 画面の表示



EUR バージョン 8 での製品体系の変更

EUR バージョン 8 での製品体系の変更について、次の図に示します。



(凡例)

- : 製品のすべての機能を移行先の製品へ引き継ぎます。
- > : Form帳票作成機能を除く、すべての機能を移行先の製品へ引き継ぎます。
- : □ で示す製品の付加製品であることを示します。

EUR バージョン 8 でのマニュアル体系の変更

EUR バージョン 8 では、マニュアル体系を変更しました。体系変更後の各マニュアルの記載内容を次の表に示しますので、利用目的に応じてご利用ください。

マニュアル名		記載内容の概略
バージョン 7	バージョン 8	
EUR 概説 (3章・4章以外)	uCosminexus EUR 概説	<ul style="list-style-type: none"> 製品・機能概要 EUR シリーズの製品紹介
EUR 概説 (3章)	uCosminexus EUR 帳票設計	<ul style="list-style-type: none"> 表紙のある帳票の作成概要 複数様式の帳票の作成概要
EUR 概説 (4章)	はじめての帳票作成	帳票を作成する手順
EUR 帳票設計	uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票作成機能を使用した帳票設計
EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) を使用した帳票設計
EUR 帳票出力	uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力機能を使用した帳票出力
EUR Print Service 帳票出力	uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力機能を使用した帳票出力
EUR メッセージ	uCosminexus EUR メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> EUR 帳票作成機能, EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) のメッセージ EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ DABroker のメッセージ

常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外の漢字を使用しています。

個所 (かしょ), 矩形 (くけい), 罫線 (けいせん), 桁 (けた), 揃える (そろえる), 貼る (はる)

KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。

目次

1	EUR 帳票作成機能の紹介	1
1.1	EUR 帳票作成機能とは	2
1.2	基本的な使い方	4
1.2.1	データを用意する	4
1.2.2	データをレイアウトする	5
1.2.3	帳票の見た目を整える	7
2	帳票を作成してみよう	9
2.1	この例題で作成する帳票	10
2.2	帳票を作成する流れ	12
2.3	EUR を起動する	13
2.4	用紙を設定する	14
2.5	データを読み込む	15
2.5.1	データファイルの選択	15
2.5.2	区切り情報の設定	15
2.5.3	フィールド定義情報の設定	17
2.6	文字、線、図形、および印刷日付を配置する	19
2.6.1	文字アイテムの配置	19
2.6.2	線アイテムの配置	21
2.6.3	図形アイテムの配置	22
2.6.4	印刷日付アイテムの配置	22
2.6.5	文字の表示形式の設定	24
2.7	表を作成する	26
2.7.1	繰り返すアイテムの定義	26
2.7.2	アイテムの繰り返し	26
2.7.3	見出しの定義	28
2.7.4	表のブロック分け	29
2.8	表を装飾する	31
2.8.1	まとめ表示	31
2.8.2	網掛けアイテムの繰り返し	32
2.9	データを集計する	35
2.9.1	集計行の追加	35
2.9.2	集計行の編集	36

2.10	アイテムを組み合わせで部品化する	40
2.11	帳票を確認，印刷，および保存する	42

3

	便利な使い方と困ったときの対処	45
--	-----------------	----

3.1	便利な使い方	46
3.1.1	アイテムを貼り付ける位置の目安を表示する	46
3.1.2	アイテムの位置や大きさを微調整する	47
3.1.3	選択できるアイテムを限定する	47
3.1.4	複数のアイテムを揃える	48
3.1.5	属性をコピーする	49
3.1.6	複数のアイテムの属性を一度に設定する	50
3.1.7	罫線（矩形線）を引き伸ばす	51
3.1.8	図形アイテムの一部に色を付ける	53
3.1.9	データを準備する前に帳票を作成しておく	55
3.1.10	文字アイテム配置時のフォントサイズを指定する	56
3.1.11	データウィンドウ上のデータの表示サイズを変更する	57
3.2	困ったときの対処	58
3.2.1	先頭レコードにフィールド名を含むデータの読み込み方を間違えたとき	58
3.2.2	マッピングデータの読み込み先を間違えたとき	59
3.2.3	網掛けアイテムに設定した色が確認できないとき	59

索引

1

EUR 帳票作成機能の紹介

この章では、EUR 帳票作成機能の紹介と、基本的な使い方を説明します。

1.1 EUR 帳票作成機能とは

1.2 基本的な使い方

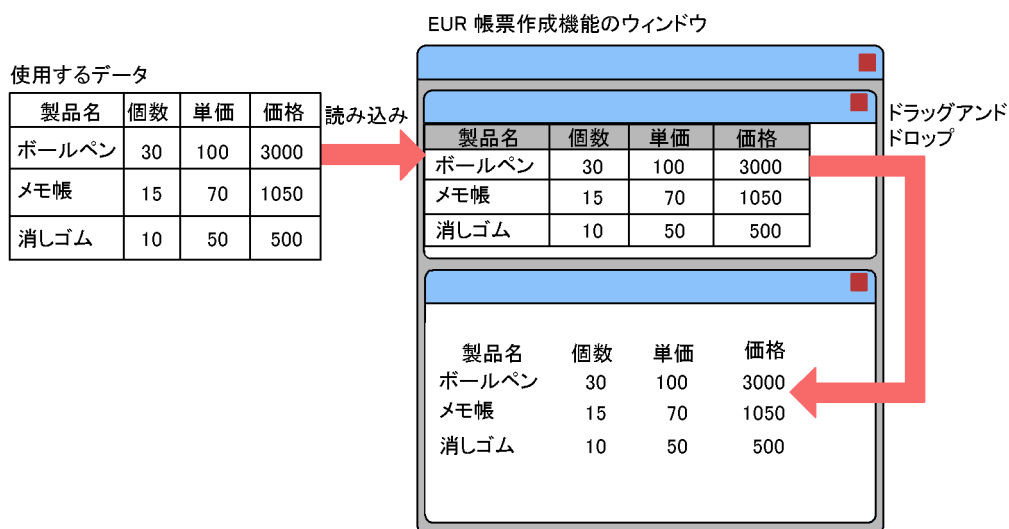
1.1 EUR 帳票作成機能とは

EUR 帳票作成機能とは、帳票に使用するデータや帳票のレイアウトに必要な要素（文字，線，図形など）を画面上に配置して、帳票を作成する機能です。

EUR 帳票作成機能を使って帳票を作成するイメージを次の図に示します。

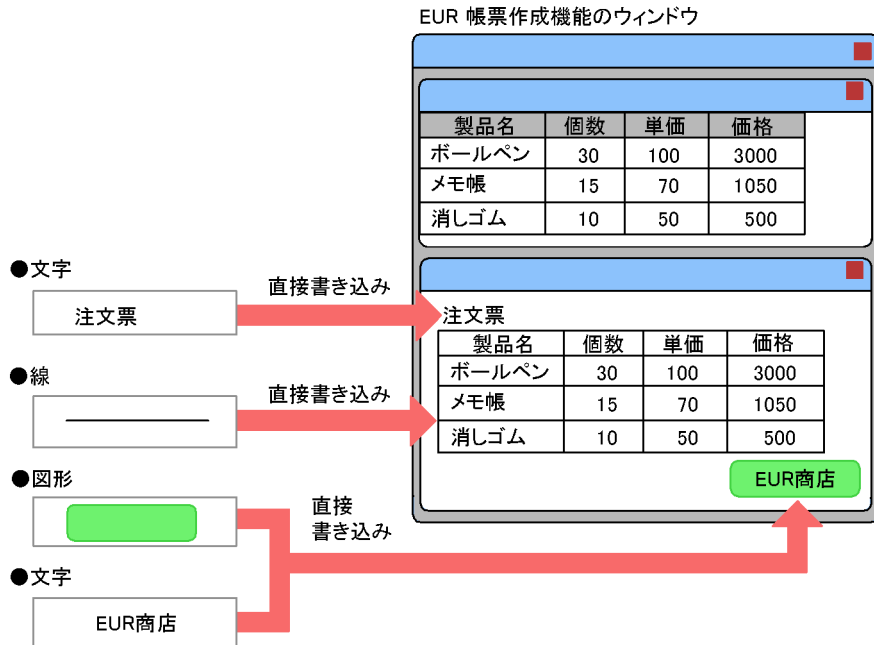
データのレイアウト

帳票に使用するデータをデータファイルから読み込み、帳票のレイアウトを編集するウィンドウにドラッグアンドドロップします。ドラッグアンドドロップで貼り付けただけで、データを帳票のどこにレイアウトするのが決めることができます。



文字，線，図形などの配置

文字，線，図形なども、帳票のレイアウトを編集するウィンドウで直接書き込めます。



1.2 基本的な使い方

EUR 帳票作成機能は、次の三つの作業で簡単に帳票を作成できます。

- データを用意する
- データをレイアウトする
- 帳票の見栄えを整える

それぞれの作業について説明します。

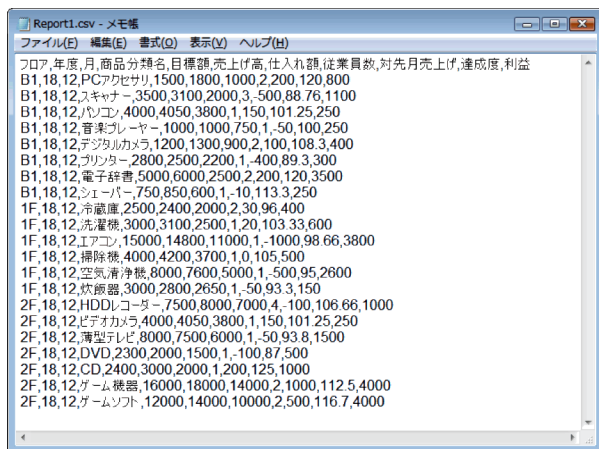
1.2.1 データを用意する

帳票に使用するデータをデータファイルから EUR 帳票作成機能に読み込みます。また、帳票上で正しくレイアウトできるようにデータの種別を定義します。

データを用意する手順を次に示します。

1. データファイルを準備する

帳票で使用するデータの入ったデータファイルを準備します。
この例では、次のような CSV ファイルを使用します。



CSV ファイルは、Excel またはテキストエディタで作成します。

2. データを読み込む

EUR 帳票作成機能で、データファイルを読み込みます。

読み込みが完了すると、データの内容を表示するウィンドウ（マッピングデータウィンドウ）に、読み込んだデータが表示されます。

マッピングデータウィンドウでは、次のように表示されます。

フロア	年度	月	商品分類名	目標額	売上げ高	仕入れ額	従業員数	先月売上	達成率	利益	
1	B1	18	12	PCアクセサリ	1500	1800	1000	2	200	120	800
2	B1	18	12	スキャナー	3500	3100	2000	3	-500	88.76	1100
3	B1	18	12	パソコン	4000	4050	3900	1	150	101.25	250
4	B1	18	12	音楽プレーヤー	1000	1000	750	1	-50	100	250
5	B1	18	12	デジタルカメラ	1200	1300	900	2	100	108.3	400
6	B1	18	12	プリンター	2800	2500	2200	1	-400	89.3	300
7	B1	18	12	電子辞書	5000	6000	2500	2	200	120	3500
8	B1	18	12	シェーバー	750	850	600	1	-10	113.3	250
9	1F	18	12	冷蔵庫	2500	2400	2000	2	30	96	400
10	1F	18	12	洗濯機	3000	3100	2500	1	20	103.33	600
11	1F	18	12	エアコン	15000	14800	11000	1	-1000	98.66	3800
12	1F	18	12	掃除機	4000	4200	3700	1	0	105	500
13	1F	18	12	空気清浄機	8000	7800	6000	1	-500	95	2300
14	1F	18	12	炊飯器	3000	2800	2850	1	-50	93.3	150
15	2F	18	12	DVDレコーダー	7500	8000	7000	4	-100	106.66	1000
16	2F	18	12	ビデオカメラ	4000	4050	3800	1	150	101.25	250
17	2F	18	12	薄型テレビ	8000	7500	6000	1	-50	93.8	1500
18	2F	18	12	DVD	2300	2000	1500	1	-100	87	500
19	2F	18	12	CD	2400	3000	2000	1	200	125	1000
20	2F	18	12	ゲーム機器	16000	18000	14000	2	1000	112.5	4000
21	2F	18	12	ゲームソフト	12000	14000	10000	2	500	116.7	4000

3. データの種類を定義する

読み込んだデータの項目ごとに、文字列、数値、バーコードなどの種類を設定します。正しい種類を設定しないと、読み込んだはずのデータが表示されなかったり、データをレイアウトしたときに正しく表示できなかったりします。

フィールド名	種類	データ
1	フロア	文字列
2	年度	数値
3	月	数値(集計対象外)
4	商品分類名	目次(日本語)
5	目標額	目次(月次)
6	売上げ高	目次(年次)
7	仕入れ額	数値
8	従業員数	数値
9	先月売上	数値
10	達成率	数値

1.2.2 データをレイアウトする

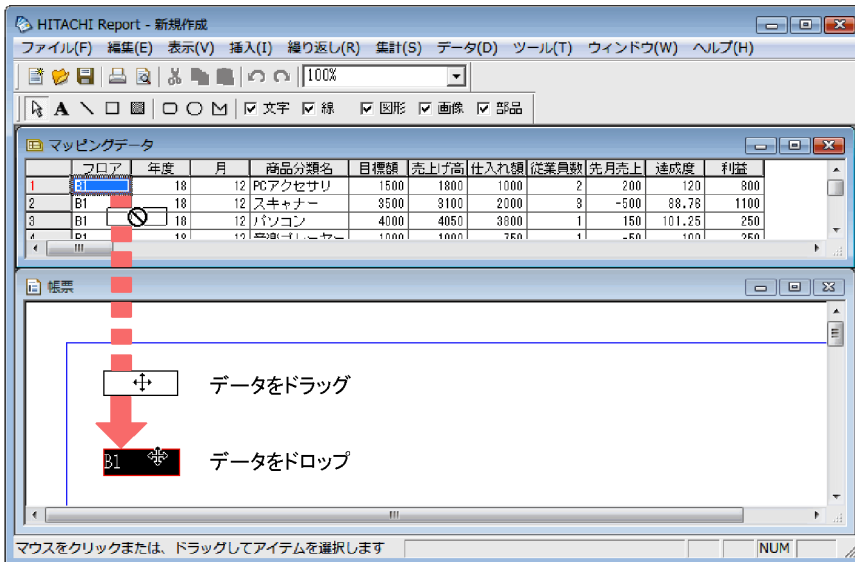
帳票のレイアウトを編集する画面（帳票ウィンドウ）で、データを実際の印刷イメージのとおりレイアウトします。

データをレイアウトする手順を次に示します。

1. マッピングデータウィンドウのデータを帳票ウィンドウに貼り付ける
マッピングデータウィンドウのデータは、帳票ウィンドウにドラッグアンドドロップして貼り付けます。
ドラッグアンドドロップするとき、貼り付ける対象のデータは次のように表示されま

1. EUR 帳票作成機能の紹介

す。



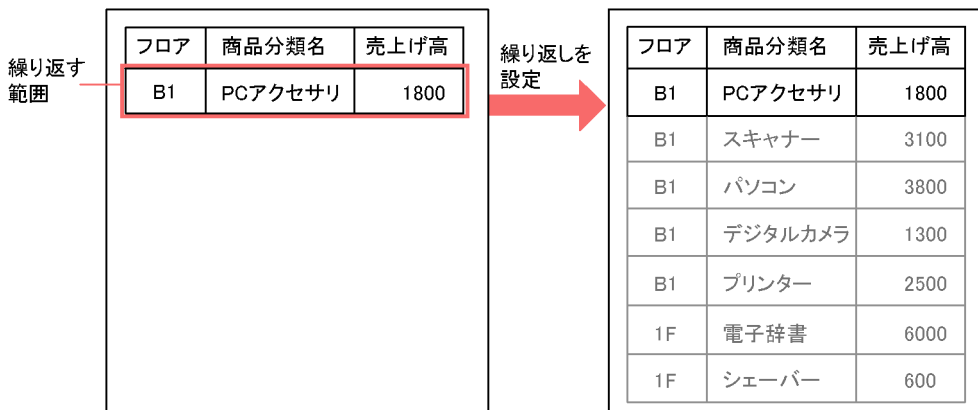
2. 文字，線，図形などを直接作成する

データにない文字（帳票のタイトルなど），表を作成する罫線，帳票を見やすくするための図形などは，帳票ウィンドウ上で直接作成します。

帳票の印刷日付やページ番号も帳票ウィンドウ上で作成できます。

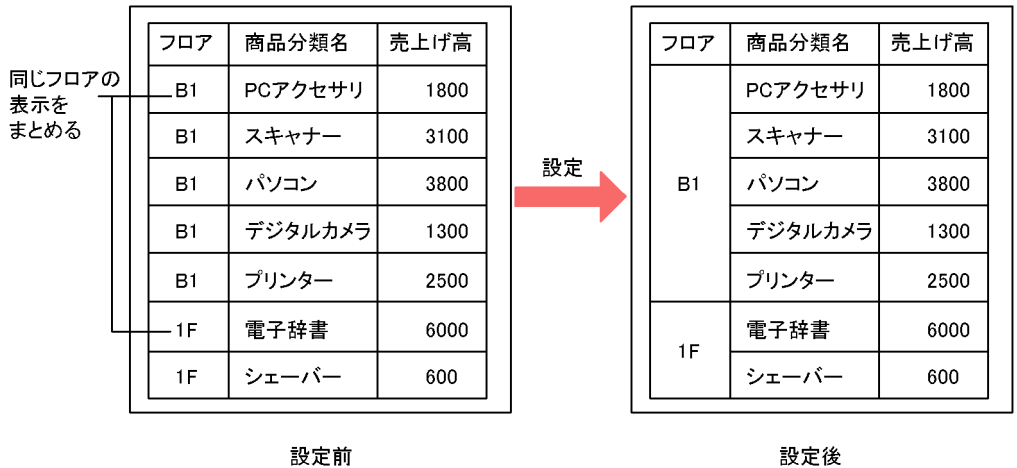
3. 表を繰り返す

表を作成する場合，すべてのデータをドラッグアンドドロップで貼り付ける必要はありません。1行目のデータだけを貼り付けたあとで，繰り返すという機能を設定すれば，簡単に表を作成できます。繰り返す機能のイメージを次の図に示します。



2行目以降は自動的に繰り返されて，表が作成される

このとき、フロア表示や日付などの同じデータが複数行に連続している箇所は、まとめて表示できます。

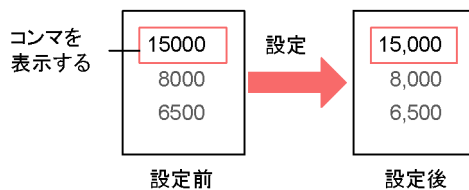


1.2.3 帳票の見た目を整える

作成した表や文字などを装飾して、帳票を見やすく整えます。

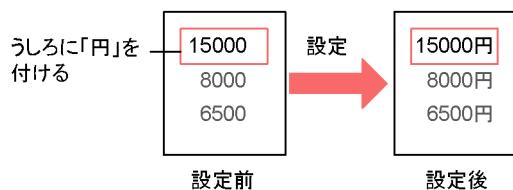
EUR 帳票作成機能では、作成した表や文字などを次のように装飾できます。

- 数値データにコンマを表示できます。
金額などのデータにコンマが表示されるように設定して、数値を見やすくできます。

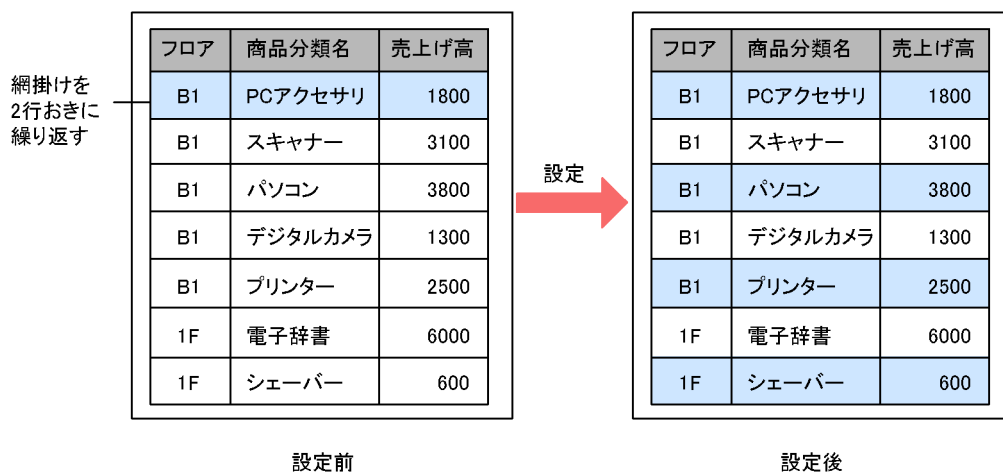


- 文字、線、図形などの位置を揃えることができます。
文字、線、図形などの位置をツールバーのボタンで簡単に揃えることができます。右揃え、左揃え、上揃え、下揃え、幅揃え、および高さ揃えを設定できます。詳細については、「3.1.4 複数のアイテムを揃える」を参照してください。
- データの前後に文字を付加できます。
金額のデータに「円」を付けたり、個数のデータに「個」を付けたりするように設定して、数値の意味をわかりやすく表示できます。

1. EUR 帳票作成機能の紹介



- 色付きの網掛けを繰り返すことができます。
色付きの網掛けを表内に作成して、データと同じように繰り返すことができます。
2行おき、3行おきなど繰り返しの間隔も設定できます。



2

帳票を作成してみよう

この章では、EUR 帳票作成機能で帳票を作成する手順を説明します。

-
- 2.1 この例題で作成する帳票

 - 2.2 帳票を作成する流れ

 - 2.3 EUR を起動する

 - 2.4 用紙を設定する

 - 2.5 データを読み込む

 - 2.6 文字、線、図形、および印刷日付を配置する

 - 2.7 表を作成する

 - 2.8 表を装飾する

 - 2.9 データを集計する

 - 2.10 アイテムを組み合わせて部品化する

 - 2.11 帳票を確認、印刷、および保存する
-

2. 帳票を作成してみよう

2.1 この例題で作成する帳票

EUR 帳票作成機能で帳票を作成する手順を説明します。

次のように、フロアごとに列を切り替えて繰り返す帳票を作成します。

図 2-1 この例題で作成する帳票

ABC家電				平成 18年 9月分フロア別売上実績				2007年 7月 9日 作成			
支店											
支店コード:											
フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	スキャナー	3,100	▲600		洗濯機	3,100	20		ビデオカメラ	4,050	150
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50
	音楽プレーヤー	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲100
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,800	▲50		ゲーム機器	18,000	1,300
	電子辞書	6,000	200				ゲームソフト		14,000	500	
	シェーバー	850	▲30								
小計	20,600			小計	34,900			小計	56,550		
								合計	112,050		

この帳票では、次のような機能を使用しています。

アイテムの配置

文字アイテム、線アイテム、図形アイテム（網掛けアイテム）、および印刷日付アイテムを配置します。

文字の表示形式の設定

3桁以上の数字に「,（コンマ）」を表示させるなど、文字の表示形式を設定します。

データの貼り付け

データファイルからデータを読み込み、帳票に貼り付けます。

表の繰り返し

表の一行目のデータを貼り付けて繰り返しを設定すると、データを自動的に読み込んで表が作成されます。

表のまとめ表示

「B1」など同じ内容の項目が続いた場合、まとめて表示します。

アイテムの繰り返し

網掛けアイテムを指定した行ごとに間隔を空けて繰り返します。

データの集計

帳票に貼り付けたデータを集計します。

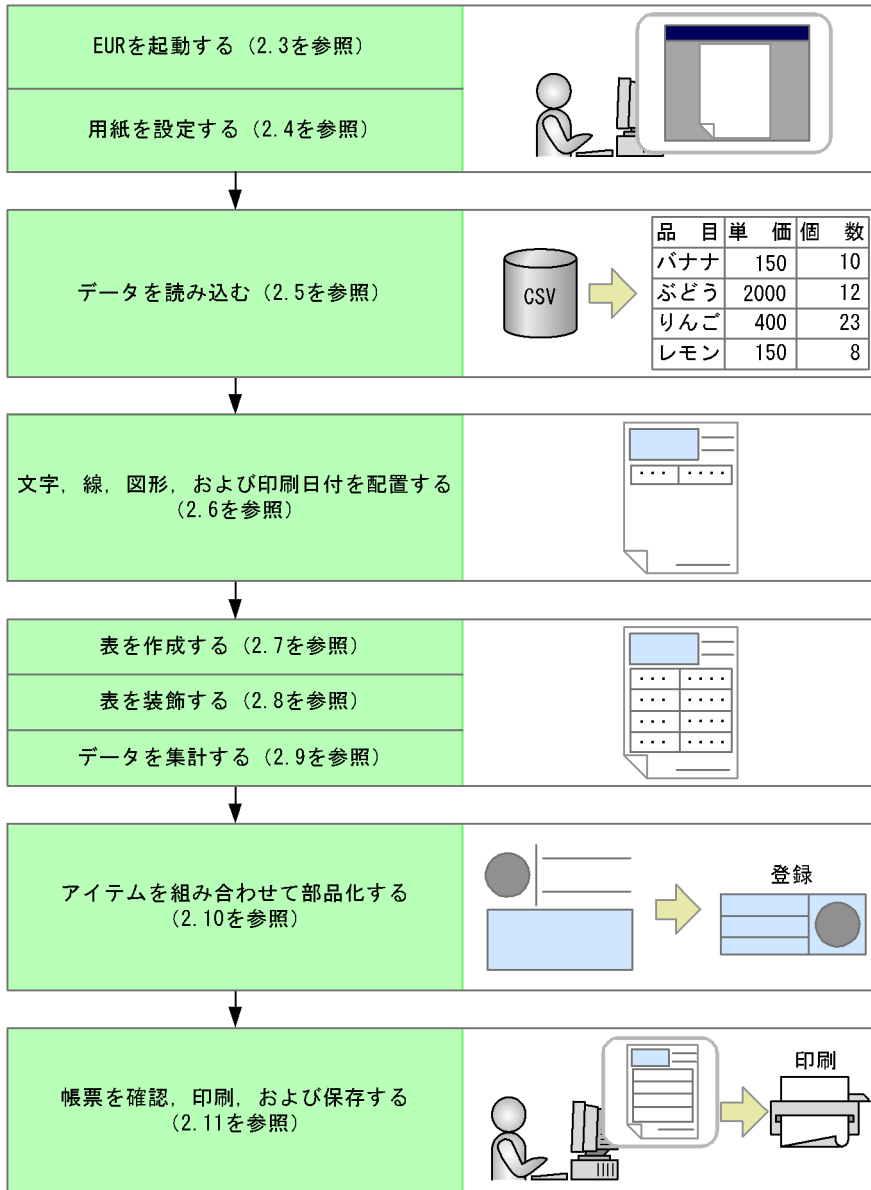
アイテムの部品化

幾つかのアイテムを組み合わせ、一つの部品として登録および再利用します。

2.2 帳票を作成する流れ

帳票を作成する作業の流れを次の図に示します。

図 2-2 帳票を作成する作業の流れ

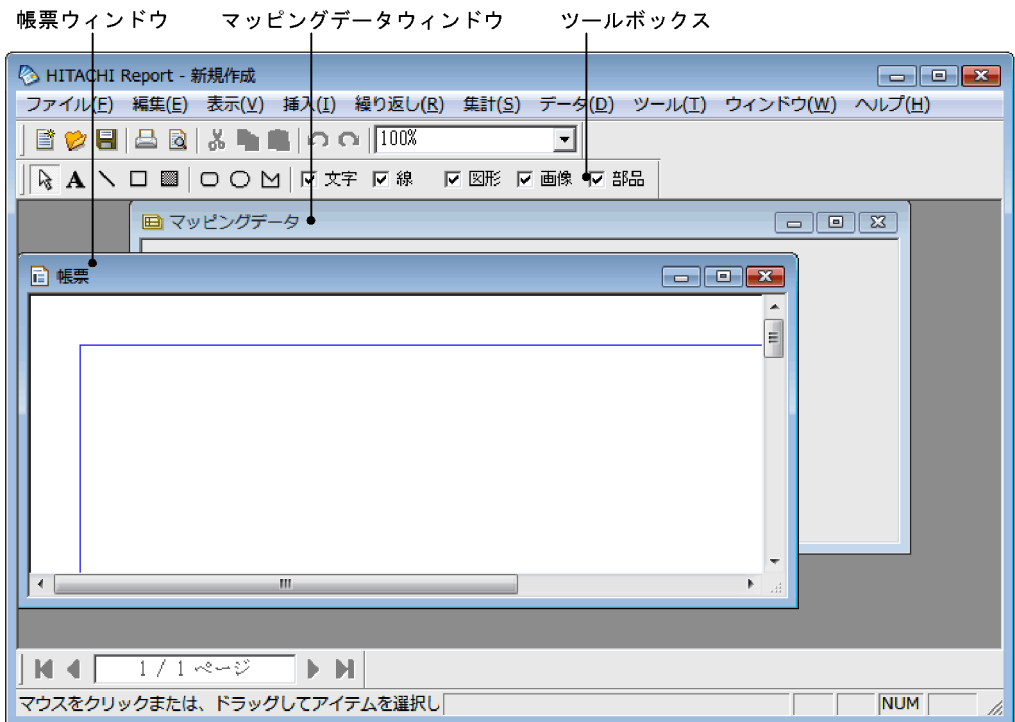


2.3 EUR を起動する

EUR 帳票作成機能は、スタートメニューの [EUR Designer] または [EUR Developer] から [EUR 帳票作成機能] を選択して起動します。

EUR 帳票作成機能は、次のようなウィンドウ構成で起動します。

図 2-3 EUR 帳票作成機能のウィンドウ構成



ウィンドウおよびツールボックスの説明を次に示します。

帳票ウィンドウ

マッピングデータウィンドウおよびユーザ定義データウィンドウに表示したデータや、線や固定文字などを貼り付けて、帳票を設計するウィンドウです。

マッピングデータウィンドウ

帳票設計用のデータを表形式で表示するウィンドウです。

このウィンドウに表示したデータをドラッグアンドドロップして、帳票ウィンドウに貼り付けます。

ツールボックス

アイテムを生成または選択するときに使用するボタンを表示しています。

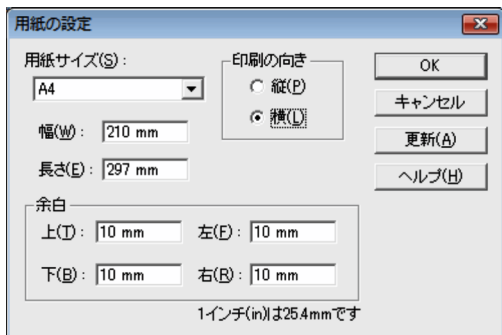
ツールボックスは、自由に移動できます。ツールボックスを EUR のウィンドウの左端、右端、または下端に位置づけると、その位置に固定されます。

2.4 用紙を設定する

帳票を設計する用紙の大きさ、用紙を使用する方向および余白の大きさを設定します。

用紙の設定は [用紙の設定] ダイアログで行います。[用紙の設定] ダイアログは、[ファイル] メニューの [用紙の設定] を選択すると表示されます。

作成する帳票のサイズを A4、印刷の向きを横向きに設定します。



2.5 データを読み込む

ファイルに保存してある表形式のデータを読み込んで、マッピングデータウィンドウに表示します。

データファイルを読み込む前に、データを表示するマッピングデータウィンドウを選択状態にしておきます。

2.5.1 データファイルの選択

[データ] メニューから [データファイル指定] を選択すると、[データファイルの指定] ダイアログが表示されます。

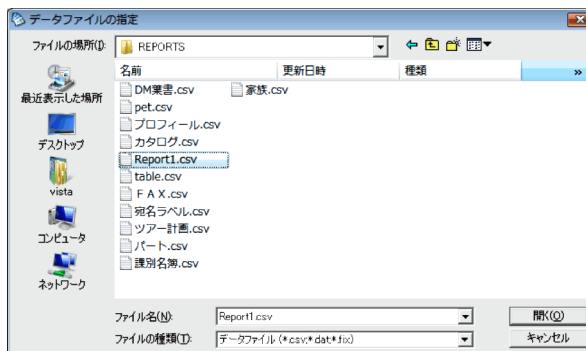
データを表示するファイル「Report1.csv」を選択します。「Report1.csv」は、次のフォルダに格納されています。

EUR Designer の場合

EUR Designer のインストール先フォルダ ¥Sample¥Reports

EUR Developer の場合

EUR Developer のインストール先フォルダ ¥EUR Designer¥Sample¥Reports



ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックすると、[データのプロパティ] ダイアログの [区切り情報] タブが表示されます。

2.5.2 区切り情報の設定

[データのプロパティ] ダイアログの [区切り情報] タブの設定手順を次に示します。

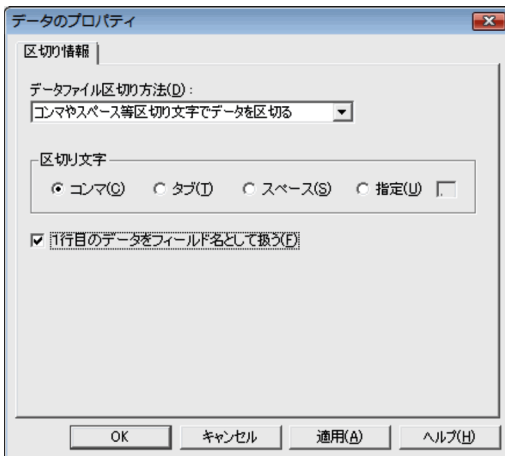
1. データファイル区切り方法と区切り文字の設定

作成する帳票は csv 形式のデータを使用するので、[データファイル区切り方法] は「コンマやスペース等区切り文字でデータを区切る」を指定します。また、[区切り文字] は「コンマ」を指定します。

2. 1 行目のデータをフィールド名として扱うかどうかの設定

2. 帳票を作成してみよう

使用するデータは先頭レコードにフィールド名が入っているので、「1行目のデータをフィールド名として扱う」を指定します。
ダイアログの設定内容を次の図に示します。



「1行目のデータをフィールド名として扱う」を指定しなかった場合は、EUR が「A」, 「B」, 「C」と自動的にフィールド名を定義します。この場合、ファイルを読み込んだあと、[フィールド定義]ダイアログでフィールド名を変更できます。

参考

区切り情報は、ファイル形式によって指定が異なります。ファイル形式による区切り情報の指定値を次に示します。

- CSV 形式または DAT 形式のデータファイルの場合
「コンマやスペース等区切り文字でデータを区切る」を指定します。
- FIX 形式のデータファイルの場合
「指定した区切り位置でデータを区切る」を指定します。

3. [OK] ボタンのクリック

[OK] ボタンをクリックすると、「フィールド定義情報を自動作成しました。」というメッセージが表示され、マッピングデータウィンドウには次のようにデータが表示されます。

HITACHI Report - 新規作成 - [マッピングデータ]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 繰り返し(R) 集計(S) データ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

	フロア	年度	月	商品分類名	目標額	売上高	仕入れ額	従業員数	先月売上	達成度	利益
1	E1	18	9	PCアクセサリ	1500	1800	1000	2	200	120	300
2	B1	18	9	スキャナー	3500	3100	2000	3	-500	88.76	1100
3	B1	18	9	パソコン	4000	4050	3800	1	150	101.25	250
4	B1	18	9	音楽プレーヤー	1000	1000	750	1	-50	100	250
5	B1	18	9	デジタルカメラ	1200	1300	900	2	100	108.3	400
6	B1	18	9	プリンター	2800	2500	2200	1	-400	89.3	300
7	B1	18	9	電子辞書	5000	6000	2500	2	200	120	3500
8	B1	18	9	シェーバー	750	850	600	1	-10	113.3	250
9	1F	18	9	冷蔵庫	2500	2400	2000	2	30	96	400
10	1F	18	9	洗濯機	3000	3100	2500	1	20	103.33	800
11	1F	18	9	エアコン	15000	14800	11000	1	-1000	98.66	3300
12	1F	18	9	掃除機	4000	4200	3700	1	0	105	500
13	1F	18	9	空気清浄機	8000	7800	5000	1	-500	96	2800
14	1F	18	9	炊飯器	3000	2800	2850	1	-50	93.3	150
15	2F	18	9	HDDレコーダー	7500	8000	7000	4	-100	106.66	1000
16	2F	18	9	ビデオカメラ	4000	4050	3800	1	150	101.25	250
17	2F	18	9	薄型テレビ	8000	7500	6000	1	-50	93.8	1500
18	2F	18	8	Dvd	2300	2000	1500	1	-100	87	500
19	2F	18	9	C D	2400	3000	2000	1	200	125	1000
20	2F	18	9	ゲーム機器	16000	18000	14000	2	1000	112.5	4000
21	2F	18	9	ゲームソフト	12000	14000	10000	2	500	116.7	4000

1 / 1 ページ

マウスをクリックまたは、ドラッグしてアイテムを選択します

ポイント

「1行目のデータをフィールド名として扱う」の指定を忘れてしまった場合は、「3.2.1 先頭レコードにフィールド名を含むデータの読み込み方を間違えたとき」を参照して、データを読み込み直してください。

2.5.3 フィールド定義情報の設定

データウィンドウ上の「フロア」「年度」など、縦方向（列）のデータを、フィールドといいます。

それぞれのフィールドには文字列や数値などの属性を設定できます。フィールド定義を正しい属性に設定しないと、データウィンドウにデータが表示されなかったり、帳票ウィンドウに貼り付けたときに正しく表示できなかったりします。

[データ]メニューから[フィールド定義]を選択すると、[フィールド定義]ダイアログが表示されます。各項目の種別をクリックして、ドロップダウンリストから種別を選択してください。

2. 帳票を作成してみよう



種別は次のように設定します。

フィールド名称	種別
フロア	文字列
年度	数値
月	数値
商品分類名	文字列
目標額	数値
売上げ高	数値
仕入れ額	数値
従業員数	数値
対先月売上げ	数値
達成度	数値
利益	数値

[OK] ボタンをクリックすると、マッピングデータウィンドウに戻ります。

ポイント

マッピングデータウィンドウではなくユーザー定義データウィンドウにデータを読み込んでしまった場合は、「3.2.2 マッピングデータの読み込み先を間違えたとき」を参照して、データを読み込み直してください。

2.6 文字，線，図形，および印刷日付を配置する

帳票に文字，線，図形，および印刷日付を配置します。

ここからは，帳票ウィンドウに各アイテムをレイアウトします。また，マッピングデータウィンドウと帳票ウィンドウを縦に並べると，効率よく作業を進められます。

2.6.1 文字アイテムの配置

帳票のタイトル，およびデータを表示するために，文字アイテムを配置します。

文字アイテムには，次の2種類があります。

- 文字を直接入力した文字アイテム
- マッピングデータウィンドウから貼り付けた文字アイテム

2種類の文字アイテムの配置，および装飾手順について次に示します。

1. 文字の直接入力


文字を直接入力するには，ツールボックスの **A** をクリックし，表示領域を作成してから，文字を入力します。

ここでは，帳票のタイトルを直接入力します。

年度，および月はデータウィンドウから貼り付けるので，空白を挿入しておきます。

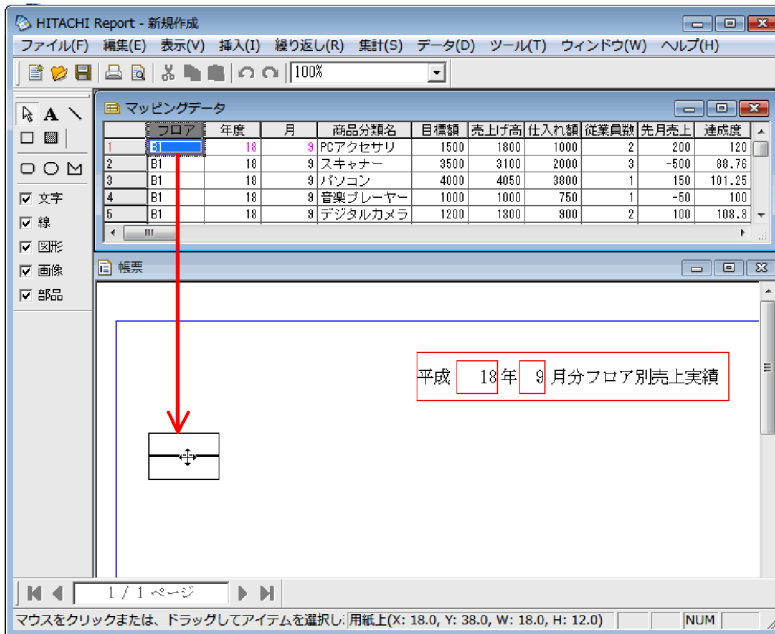
2. マッピングデータウィンドウからの文字の貼り付け

マッピングデータウィンドウから文字を貼り付けるときは，マッピングデータウィンドウで貼り付けたい文字を選択して，帳票ウィンドウにドラッグアンドドロップします。フィールド名も文字として貼り付けられます。

帳票ウィンドウには，カーソルが  に変化してからドラッグアンドドロップしてください。

2. 帳票を作成してみよう

矢印で示したようにアイテムをドラッグアンドドロップする



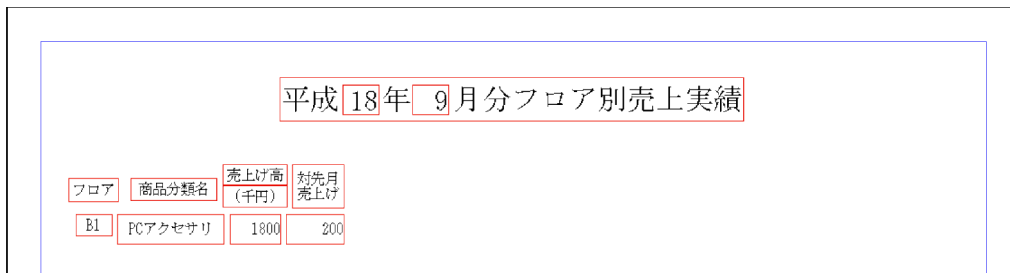
3. 文字アイテムの装飾

タイトルの文字アイテムはデフォルトでは 12 ポイントに設定されているので、24 ポイントに変更します。

文字アイテムのフォントは、[アイテムのプロパティ] ダイアログの [フォント] タブで設定します。[アイテムのプロパティ] ダイアログは、文字アイテムを右クリックして表示されるメニューから [アイテムのプロパティ] を選択すると表示されます。

ここでは、タイトルの「平成 年 月分フロア別売上実績」、「18」および「9」の文字アイテムを選択してから、右クリックします。

すべての文字アイテムを設定すると、帳票上では次のように表示されます。なお、「(千円)」は、手順 1. の方法で直接入力してください。



参考

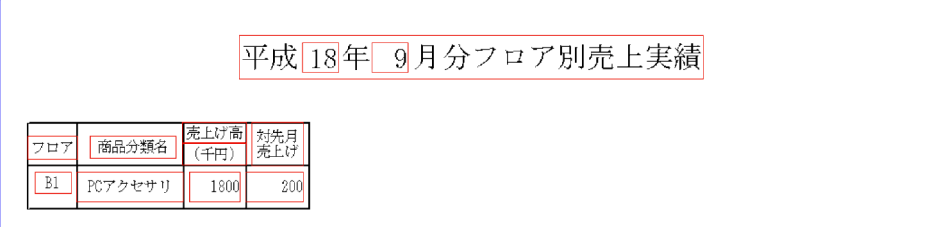
ここで文字アイテムを貼り付けた位置が、表を作成したときのレイアウトの基準位置になります。文字アイテムの貼り付け位置は、「2.1 この例題で作成する帳票」を参考にして配置してください。

2.6.2 線アイテムの配置


表を作成するために、線アイテムを配置します。

線アイテムは、ツールボックスの  をクリックして、一本ずつ引きます。

< Shift > キーを押しながら線を引くと、角度が 45° ずつ調整されるので、直線が引けます。




フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	FCアクセサリ	1800	200

四角の枠を一度に引く場合は、ツールボックスの  をクリックして、四角を描く範囲を指定します。

(1) 線アイテムを選択するときのポイント

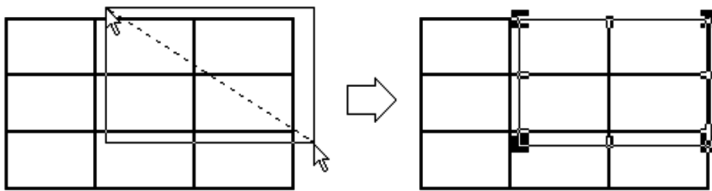
EUR の線は次に示す特徴があります。そのため、線アイテムを選択する場合は、注意が必要です。

-  をクリックして作成した枠は、1 本 1 本独立しています。
- 重なった線（直線）は、1 本の線として認識されます。

線アイテムを複数選択する場合は、< Ctrl > キーを押したままクリックしてください。

表などを構成する線の一部を複数選択で選択する場合は、選択対象とする線の部分をラバーバンドでなぞるようにドラッグしてください。この場合、線アイテムは、1 本 1 本の線を選択状態にするのではなく、次の図のようにラバーバンドで囲まれた部分だけを対象とします。

2. 帳票を作成してみよう



2.6.3 図形アイテムの配置

表を装飾するために、図形アイテム（網掛けアイテム）を配置します。

網掛けアイテムは、ツールボックスの  をクリックして、網を掛ける範囲を指定します。

ここでは、網掛けアイテムを次のように二つ配置します。

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1800	200

網掛けアイテム（見出し）

網掛けアイテム（売上げ）


図形の線や網掛けの種類、色などを変更する場合は、[アイテムのプロパティ] ダイアログの [図形] タブで設定します。[アイテムのプロパティ] ダイアログは、アイテムを右クリックして表示されるメニューから [アイテムのプロパティ] を選択すると表示されます。

参考

文字アイテム、線アイテム、図形アイテムなどが重なっている場合、次のツールボックスを利用すると、アイテムを簡単に選択できます。



次の手順でツールボックスを利用してアイテムを選択します。

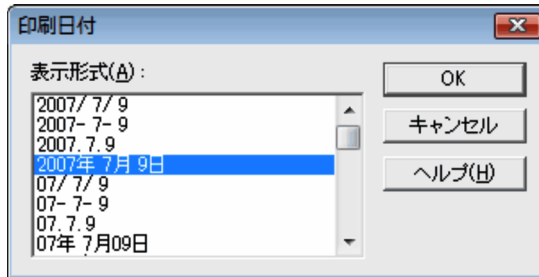
1.  を選択します。この状態を選択モードといいます。
2. [文字],[線],[図形],[画像],[部品] チェックボックスで、選択したいアイテムのチェックボックスだけにチェックを入れます。
3. 選択したいアイテムをクリックします。

2.6.4 印刷日付アイテムの配置

帳票を印刷した日付が表示されるように、印刷日付アイテムを配置します。

1. 印刷日付アイテムの配置

[挿入]メニューから[印刷日付]を選択すると,[印刷日付]ダイアログが表示されるので,印刷日付の表示形式を選びます。



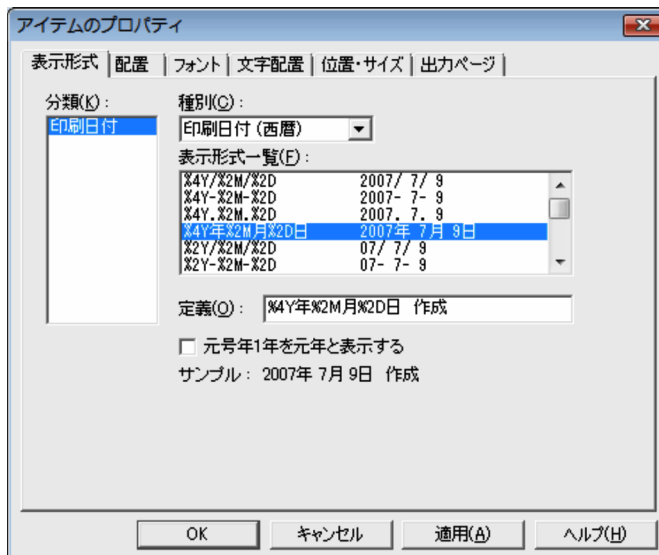
[OK]ボタンをクリックすると,カーソルが ≡ に変化します。ドラッグすると,印刷日付アイテムが点線の枠で表示されるので,任意の位置でドロップして配置します。

2. 印刷日付アイテムの装飾

配置した印刷日付アイテムを装飾したい場合は,[アイテムのプロパティ]ダイアログの[表示形式]タブで設定します。

[定義]テキストボックスに付加したい文字を入力すれば,印刷日付アイテムを装飾できます。

ここでは,印刷日付のあとに全角空白と「作成」という文字を付加します。



これでアイテムがすべて配置されました。アイテムがすべて配置された状態の帳票を次に示します。

2. 帳票を作成してみよう

平成 18 年 9 月分フロア別売上実績				2007年 7月 9日 作成
フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	
B1	PCアクセサリ	1800	200	

2.6.5 文字の表示形式の設定

マイナスの表記やコンマなど、文字の表示形式を設定します。

(1) 負符号文字の設定

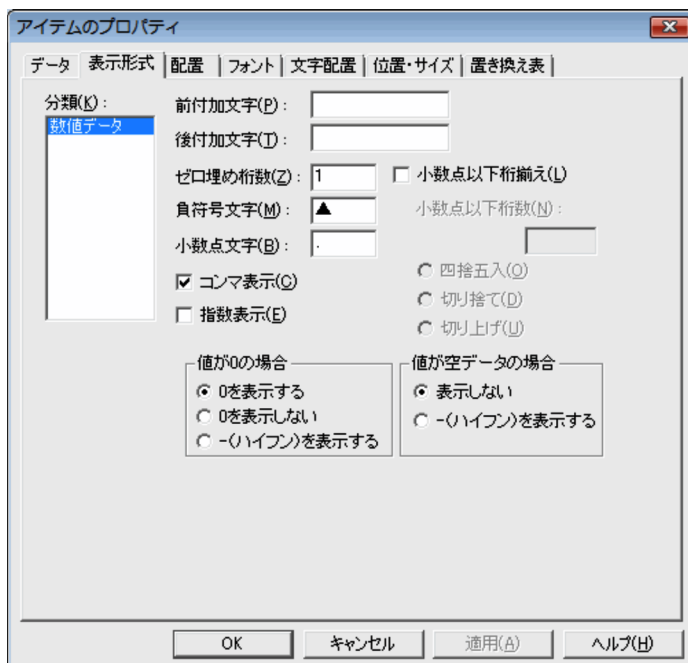
対先月売上げがマイナスだったときに、「-(マイナス)」ではなく「」を表示するように設定します。

1. [アイテムのプロパティ] ダイアログの表示

配置されたアイテム「200」を右クリックして表示されるメニューから [アイテムのプロパティ] を選択します。

2. [負符号文字] テキストボックスの変更

[アイテムのプロパティ] ダイアログの [負符号文字] テキストボックスを「-」から「」に変更して、[OK] ボタンをクリックします。



(2) コンマ表示の設定

売上げ高が3桁以上になったときにコンマを表示させるように設定します。

1. [アイテムのプロパティ] ダイアログの表示
配置されたアイテム「1800」を右クリックして表示されるメニューから [アイテムのプロパティ] を選択します。
2. [コンマ表示] チェックボックスの変更
[アイテムのプロパティ] ダイアログの [コンマ表示] チェックボックスにチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックします。

2.7 表を作成する

準備したデータの1レコード分のデータと罫線などを配置し、この配置した1レコード分と同じ形式で、残りのデータを繰り返して表を作成します。この機能を繰り返しといいます。

繰り返しの手順を次に示します。

2.7.1 繰り返すアイテムの定義

アイテムを繰り返すには、どのアイテムを繰り返すのか定義する必要があります。繰り返す対象のアイテムを定義することを、繰り返し定義といいます。

繰り返しの対象には、マッピングデータやアイテム（文字、罫線、図形など）を指定できます。

繰り返し定義の設定手順を次に示します。

1. アイテムの選択

配置した1レコード分のデータおよびアイテムを選択します。

この帳票では、太線で囲んだ部分のアイテムを選択します。

フロア	商品の類名	売上げ高 (千円)	対前月 売上比
B1	PCアクセサリー	1,800	200

選択する範囲

2. 繰り返すアイテムの定義

[繰り返し] メニューから [繰り返し指定] を選択します。

2.7.2 アイテムの繰り返し

アイテムを縦方向または横方向に繰り返すか、繰り返しの方向を設定して表を繰り返します。

繰り返しの方向は、[繰り返し] メニューの [縦位置] および [横位置] で設定します。

アイテムを繰り返す手順を次に示します。


1. 繰り返すアイテムの選択


繰り返し定義を設定したアイテムを選択します。

2. 繰り返しの方向の設定

[繰り返し] メニューの [縦位置] から [設定] を選択します。

3. アイテムの縦方向への繰り返し

繰り返しの方向を設定すると、カーソルが  に変化します。ドラッグすると、繰り返すアイテムの枠が次のように点線で表示されます。

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200
			

任意の場所で離すと、縦方向に表が繰り返されます。

繰り返すアイテムの上枠が繰り返し元となるアイテムの下の罫線に重なるところで離すと、表がきれいに繰り返されます。

平成 18 年 9 月分フロア別売上実績 2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200
B1	スキャナー	3,100	▲500
B1	パソコン	4,050	150
B1	音楽プレーヤー	1,000	▲50
B1	デジタルカメラ	1,300	100
B1	プリンター	2,500	▲400
B1	電子辞書	6,000	200
B1	シニアケータイ	850	▲10
1F	冷蔵庫	2,400	30
1F	洗濯機	3,100	30
1F	エアコン	14,800	▲1,000

縦方向にだけ繰り返すと、表は用紙の下端まで繰り返したあと、次ページに繰り返されます。表を用紙一枚に収めるために、横にも繰り返されるように設定します。

2. 帳票を作成してみよう

4. アイテムの横方向への繰り返し

[繰り返し] メニューの [横位置] から [設定] を選択して、横方向にも繰り返します。

平成 18 年 9 月分フロア別売上実績 2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ額 (千円)	対先月 売上げ				
B1	PCアクセサリ	1,800	▲200	1F	掃除機	4,200	0
B1	スキャナー	3,100	▲500	1F	空気清浄機	7,600	▲500
B1	パソコン	4,050	150	1F	炊飯器	2,800	▲50
B1	音楽プレーヤー	1,000	▲50	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
B1	デジタルカメラ	1,300	100	2F	ビデオカメラ	4,050	150
B1	プリンター	2,500	▲400	2F	薄型テレビ	7,500	▲50
B1	電子辞書	6,000	200	2F	DVD	2,000	▲100
B1	シェーバー	850	▲10	2F	CD	3,000	200
1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	ゲーム機器	18,000	1,000
1F	洗濯機	2,100	20	2F	ゲームソフト	14,000	500
1F	エアコン	14,800	▲1,000				

2.7.3 見出しの定義

横方向に繰り返されてできた表には、まだ見出しが付いていません。ここでは、横方向に繰り返されてできた表にも、見出しが表示されるように定義します。

見出しを定義する手順を次に示します。

1. アイテムの選択

見出しに設定する 1 レコード分のデータおよびアイテムを選択します。

この帳票では、太線で囲んだ部分のアイテムを選択します。

平成18年 9月分フロア別売上実績				2007年 7月 9日 作成			
フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ				
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	掃除機	4,200	0

選択する範囲

2. 見出しの設定

[繰り返し] メニューから [見出し指定] を選択すると設定されます。

平成18年 9月分フロア別売上実績				2007年 7月 9日 作成			
フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	掃除機	4,200	0
B1	スキャナー	3,100	▲500	1F	空気清浄機	7,800	▲500
B1	パソコン	4,050	150	1F	炊飯器	3,800	▲60
B1	音楽プレーヤー	1,000	▲50	2F	HDDレコーダー	3,000	▲100
B1	デジタルカメラ	1,300	100	2F	ビデオカメラ	4,050	150
B1	プリンター	2,500	▲400	2F	薄型テレビ	7,500	▲60
B1	電子辞書	6,000	200	2F	DVD	3,000	▲100
B1	シェーバー	850	▲10	2F	CD	3,000	200
1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	ゲーム機	18,000	1,000
1F	洗濯機	3,100	20	2F	ゲームソフト	14,000	500
1F	エアコン	14,800	▲1,000				

2.7.4 表のブロック分け

フロアごとに表をブロック分けして、表を見やすくします。

ブロック分けのキーとなるデータ「B1」を選択後、[繰り返し] メニューの [改ブロック / 改ページ] から [改ブロック] を選択して設定します。

2. 帳票を作成してみよう

平成 18 年 9 月分フロア別売上実績

2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200
B1	スキャナー	3,100	▲500
B1	パソコン	4,050	150
B1	音楽プレーヤー	1,000	▲50
B1	デジタルカメラ	1,300	100
B1	プリンター	2,500	▲400
B1	電子辞書	6,000	200
B1	シェーバー	350	▲10

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
1F	冷蔵庫	2,400	30
1F	洗濯機	3,100	20
1F	エアコン	14,800	▲1,000
1F	掃除機	4,200	0
1F	空気清浄機	7,800	▲500
1F	炊飯器	2,800	▲50

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
2F	HDDレコーダー	3,000	▲100
2F	ビデオカメラ	4,050	150
2F	薄型テレビ	7,500	▲50
2F	DVD	2,000	▲100
2F	CD	3,000	200
2F	ゲーム機器	13,000	1,000
2F	ゲームソフト	14,000	500

2.8 表を装飾する

同じデータが連続している部分をまとめたり，網掛けアイテムを編集したりして，表の内容を見やすくできます。

2.8.1 まとめ表示

同じデータが並んでいる「フロア」をまとめて表示するために，まとめ表示を設定します。

まとめ表示をするには，最初に，まとめ表示したいアイテムの「B1」を選択してください。

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200
B1	スキャナー	3,100	▲500

[繰り返し] メニューの [まとめ表示] から [階層なし] を選択して設定します。

2. 帳票を作成してみよう

平成18年9月分フロア別売上実績 2007年 7月 8日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	3,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	スキャナー	3,100	▲500		洗濯機	3,100	20		ビデオカメラ	4,050	150
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50
	音楽プレーヤー	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲100
	デジタルカメラ	1,300	160		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,800	▲50		ゲーム機器	18,000	1,000
	電子辞書	6,000	200						ゲームソフト	14,000	500
	シェーバー	350	▲10								

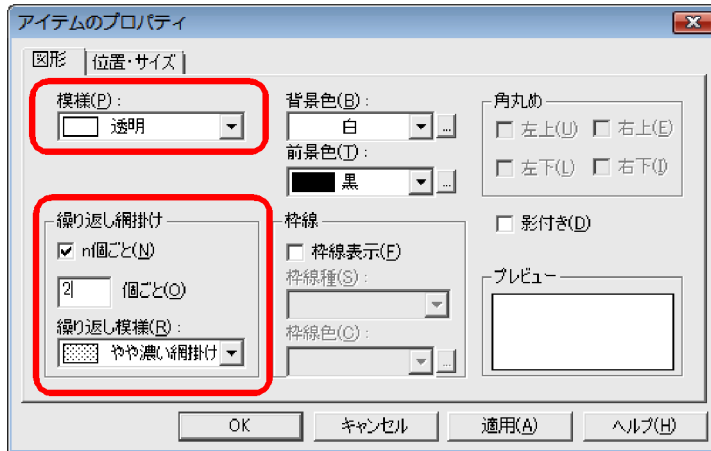
2.8.2 網掛けアイテムの繰り返し

網掛けアイテムも繰り返しの対象に設定しているので、すべての行に網が掛かっています。この網掛けアイテムを指定した行ごとに間隔を空けて掛けるように設定できます。

網掛けアイテムを繰り返す手順を次に示します。

- [アイテムのプロパティ] ダイアログの表示
繰り返したい網掛けアイテムを右クリックして表示されるメニューから [アイテムのプロパティ] を選択します。
- [アイテムのプロパティ] ダイアログの設定
[アイテムのプロパティ] ダイアログの [図形] タブで設定します。
この帳票では、太線で示した部分を変更します。

2. 帳票を作成してみよう



3. [OK] ボタンのクリック

網掛けアイテムの繰り返しが設定されます。

平成18年9月分フロア別売上実績 2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	▲200
	カメラ	3,100	▲500
	パソコン	4,050	150
	音楽プレーヤー	1,000	▲50
	デジタルカメラ	1,300	100
	プリンター	2,500	▲400
	電子辞書	6,000	200
	シェーバー	850	▲10
1F	冷蔵庫	2,400	30
	洗濯機	3,100	20
	エアコン	14,800	▲1,000
	掃除機	4,200	0
	空気清浄機	7,800	▲500
	炊飯器	2,800	▲50
2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	ビデオカメラ	4,350	150
	薄型テレビ	7,500	▲50
	DVD	2,000	▲100
	CD	3,000	200
	ゲーム機	16,000	1,000
ゲームソフト	14,000	500	

2. 帳票を作成してみよう

ポイント

繰り返した網掛けアイテムに白黒以外の色を付けた場合、帳票ウィンドウ上では黒色で表示されます。設定した色を確認したいときは、「3.2.3 網掛けアイテムに設定した色が確認できないとき」を参照してください。

2.9 データを集計する

データを貼り付けるだけでなく、貼り付けたデータの集計もできます。データを集計する方法を説明します。

2.9.1 集計行の追加

フロアごとの売上げ高を表示する「小計」と、全フロアの売上げ高の総合計を表示する「合計」を作成します。

小計や合計を集計した行のことを集計行といいます。

集計行は、集計のキーとなるデータ「B1」を選択後、[集計]メニューの[キー集計]を選択して設定します。

キー集計を設定すると、集計行が表に追加されます。

平成 18年 9月分フロア別売上実績 2007年 7月 8日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ		
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100		
	スキャナー	2,100	▲500		洗濯機	2,100	20		ビデオカメラ	4,050	150		
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50		
	音楽プレーヤー	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲300		
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200		
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,800	▲50		ゲーム機器	18,000	1,000		
	電子辞書	6,000	200			34,900	▲1,500		ゲームソフト	14,000	500		
	シェーバー	800	▲10							56,550	1,600		
			20,600		▲310								

この帳票ではフロアをまとめ表示しているため、「シェーバー」「炊飯器」「ゲームソフト」と集計行との間のフロアを示す列には罫線が引かれていません。この帳票では商品ごとの売上げと集計行を切り離すので、[繰り返し]メニューの[まとめ表示]で、[集計行で分断しない]のチェックを外してください。[集計行で分断しない]のチェックを外すと、「シェーバー」「炊飯器」「ゲームソフト」のフロアを示す列の下にも罫線が引かれます。

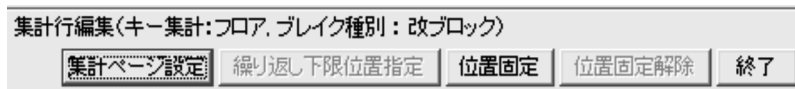
2. 帳票を作成してみよう

2.9.2 集計行の編集

集計行を編集します。集計行の編集は、「集計」メニューの「集計行の編集」を選択して編集します。

1. 集計行編集モードの切り替え

「集計」メニューの「集計行の編集」を選択後、フロア「B1」の集計アイテム「20,600」または「310」をクリックすると、集計行編集モードに切り替わります。メニューバーの下に集計行を編集するためのバーが追加されます。



2. 集計行の移動

各フロアの小計の位置を揃えるために、集計行編集モードのバーの「位置固定」を選択してから集計行をドラッグします。

平成 18年 9月分フロア別売上実績 2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	スキャナー	3,100	▲500		洗濯機	3,100	20		ビデオカメラ	4,050	150
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50
	音楽プレーヤー	1,900	▲30		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲100
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,850	▲50		ゲーム機	18,000	1,000
	電子辞書	6,000	200			34,900	▲1,500		ゲームソフト	14,000	500
	シェーバー	850	▲10							58,550	1,800
	+	20,600	▲310								

ひとつの集計行を移動すると、すべての集計行の位置が揃って移動します。

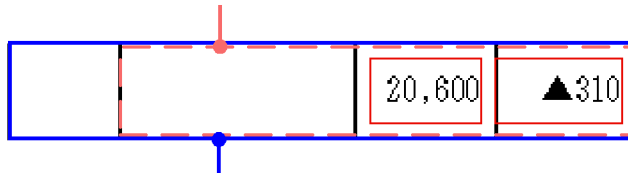
平成 18 年 9 月分フロア別売上実績 2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	80	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100	
	プリンター	2,100	▲500		洗濯機	2,100	20		ビデオカメラ	4,050	150	
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50	
	音楽プレーヤー	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		DVD	2,800	▲100	
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,800	▲500		CD	3,000	200	
	プリンター	2,500	▲100		炊飯器	2,800	▲50		ゲーム機	18,000	1,000	
	電子辞書	8,000	200						ゲームソフト	14,000	500	
	シェーバー	950	▲10									
			20,600	▲310			34,900		▲1,500			58,550

3. 集計行の編集

線アイテム、文字アイテム、網掛けアイテムを使って集計行を編集します。
網掛けアイテムの大きさと同様を、下の図を参考に変更します。

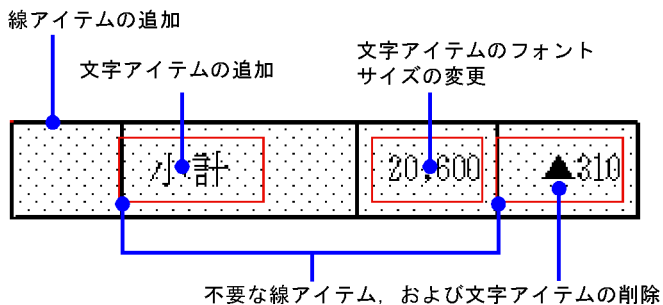
網掛けアイテムを実線で囲んだ大きさに変更



網掛けの模様を「薄い網掛け」に設定

ツールボックスの [図形] チェックボックスを外すと、網掛けアイテムが選択されないので、網掛けアイテムの背面にある文字アイテムと線アイテムを選択できます。下の図を参考に、文字アイテムと線アイテムを、追加、変更および削除します。

2. 帳票を作成してみよう



操作方法の詳細については、次の説明を参照してください。

- 網掛けアイテムの操作方法
「2.8 表を装飾する」
- 線アイテムと文字アイテムの操作方法
「2.6 文字、線、図形、および印刷日付を配置する」

集計行の装飾が終わると、次のように表示されます。

平成18年9月分フロア別売上実績 2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	スキャナー	3,100	▲500		洗濯機	8,100	20		ビデオカメラ	4,000	100
	パソコン	4,000	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50
	音楽プレーヤー	1,000	▲30		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲100
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,800	▲50		ゲーム機器	18,000	1,000
	電子辞書	6,000	200						ゲームソフト	14,000	500
	ジョypad	850	▲10							*****	▲210
	小計	20,800		小計	34,900		小計		56,550		

小計が作成できたら、合計も作成します。合計は、[集計]メニューの[総集計]を選択して設定します。

小計と同様に集計行を移動、および編集します。合計を移動するときには、集計行編集モードに切り替えたあと、集計行のアイテムをすべて選択して移動します。

平成18年9月分フロア別売上実績

2007年 7月 9日 作成

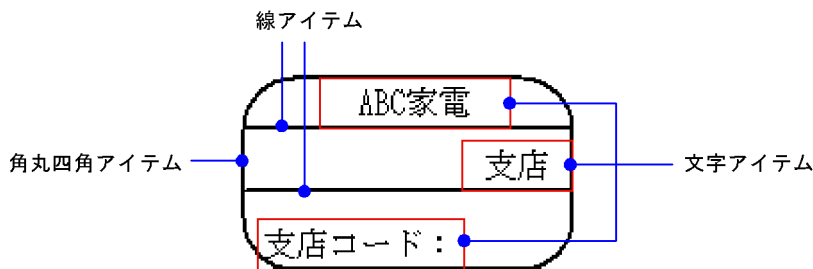
フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
E1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	スキャナー	3,100	▲500		洗濯機	3,100	20		ビデオカメラ	4,050	150
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50
	音楽プレイヤー	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲100
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,800	▲10		ゲーム機器	18,000	1,000
	電子辞書	8,000	200						ゲームソフト	14,000	500
	シキナーバー	950	▲10								
小計	20,600			小計	34,900			小計	56,550		
								合計	112,050		

集計行の編集が終わったら，集計行編集モードのバーの[終了]を選択して，集計行編集モードを終了します。

2.10 アイテムを組み合わせて部品化する

複数のアイテムから作成したラベルや表のヘッダを部品アイテムとして登録することで、一つのアイテムと同じように帳票ウィンドウ上で使用できます。登録した部品アイテムは、別の帳票を作成するときに再利用できます。

ここでは、文字アイテム、線アイテム、および角丸四角アイテムをツールボックスで選択して、支店名、および支店コードを記入するラベルを作成します。



部品として登録したいアイテムをすべて選択してから、[編集]メニューの[部品の登録]を選択します。

[部品の登録]ダイアログが表示されるので、次の項目を指定します。

部品名

部品の名称を設定します。

コメント

部品を説明するコメントを設定します。

座標

部品を使用するときに、帳票上のどこに貼り付けられるのかを設定します。

部品登録

部品名(N): 支店ラベル

コメント(M): 支店名、および支店コードの記入

座標

任意の位置(I)

固定の位置(S)

常に指定位置に配置(L)

基準位置(B): 用紙左上

X(X): 20 mm

Y(Y): 15 mm


OK キャンセル ヘルプ(H)


登録した部品は、部品パレットウィンドウから帳票にドラッグアンドドロップして貼り付けられます。この設定では、貼り付け時および貼り付け後の座標を固定しているため、常に決まった場所に部品が配置されます。

2.11 帳票を確認，印刷，および保存する

帳票の作成が終わったら，印刷イメージを確認して，帳票を保存します。

帳票の確認と印刷

帳票の印刷イメージを確認したいときは， をクリックして帳票の印刷プレビュー画面で確認してください。

帳票の印刷は，[ファイル]メニューから [印刷] を選択するか， をクリックして印刷してください。

帳票の保存

設計した帳票をファイルに保存します。帳票は，フォームシートファイル (*.fms) 形式で保存します。なお，ファイルに保存した帳票のことを帳票ファイルといいます。

帳票を保存する手順を次に示します。

1. [ファイル]メニューの [名前を付けて保存] を選択
[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。
2. 帳票の保存
ファイルに付ける名称と，ファイルの種類 (保存形式) を指定し，[保存] ボタンをクリックします。

完成例

帳票の完成例を次に示します。

2. 帳票を作成してみよう

ABC家電
支店
支店コード:

平成 18年 9月分フロア別売上実績

2007年 7月 9日 作成

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	PCアクセサリ	1,800	200	1F	冷蔵庫	2,400	30	2F	HDDレコーダー	8,000	▲100
	スキャナー	3,100	▲500		洗濯機	3,100	20		ビデオカメラ	4,000	150
	パソコン	4,050	150		エアコン	14,800	▲1,000		薄型テレビ	7,500	▲50
	音楽プレーヤー	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		DVD	2,000	▲100
	デジタルカメラ	1,300	100		空気清浄機	7,600	▲500		CD	3,000	200
	プリンター	2,500	▲400		炊飯器	2,800	▲50		ゲーム機器	18,000	1,000
	電子辞書	6,000	200						ゲームソフト	14,000	500
	シェーバー	850	▲10								
小計		20,600		小計		34,900		小計		56,550	
								合計		112,050	

3

便利な使い方と困ったときの対処

この章では、EUR 帳票作成機能で帳票を作成するときの便利な使い方と、操作中に困ったときの対処について説明します。

3.1 便利な使い方

3.2 困ったときの対処

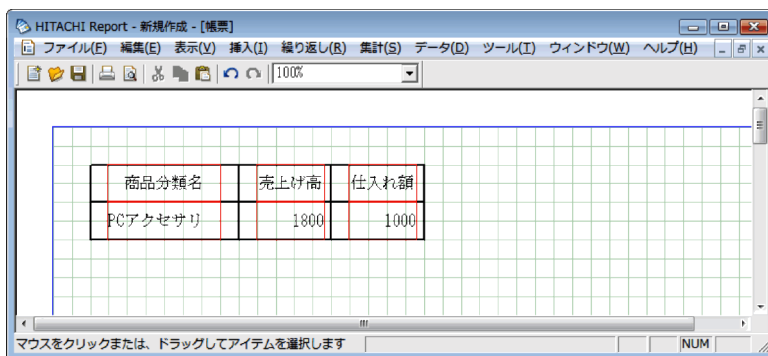
3.1 便利な使い方

EUR 帳票作成機能で帳票を作成するときの便利な使い方を説明します。

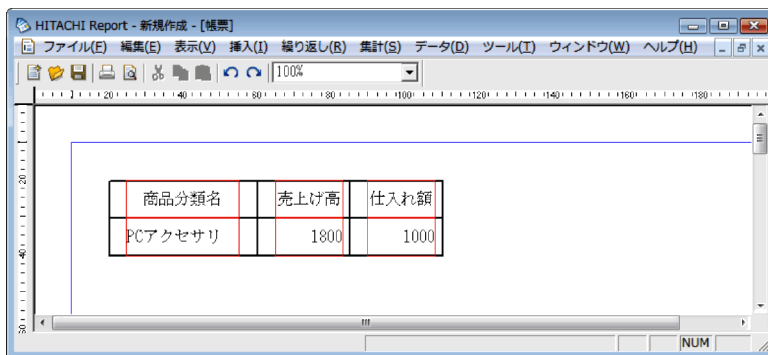
3.1.1 アイテムを貼り付ける位置の目安を表示する

EUR 帳票作成機能では、帳票ウィンドウにグリッドやルーラーを表示できます。グリッドやルーラーは、アイテムを貼り付ける位置の目安として使用できます。

グリッドを表示してアイテムを配置した状態



ルーラーを表示してアイテムを配置した状態



グリッドを表示する場合は、[表示]メニューから[グリッド]を選択します。

ルーラーを表示する場合は、[表示]メニューから[ルーラー]を選択します。

なお、グリッドはサイズも変更できます。サイズを変更するには、次の2種類の方法があります。

[オプション]ダイアログの[配置]タブで変更する

[ツール]メニューから[オプション]を選択して表示される[オプション]ダイアログの、[配置]タブで変更します。

[レポートのプロパティ] ダイアログで変更する
 [ファイル]メニューから [プロパティ] を選択して表示される, [レポートのプロパティ] ダイアログで変更します。

(1) グリッドの変更方法ごとの特長

グリッドのサイズは2種類の方法で変更できますが、変更の方法によって次のような特長があります。

[オプション] ダイアログの [配置] タブで変更する場合
 変更したグリッドの情報は、EUR 帳票作成機能を使用するマシン環境に情報が保存されます。このため、次回起動したときや、帳票を新規作成するときも、同じサイズのグリッドが使用できます。

[レポートのプロパティ] ダイアログで変更する場合
 変更したグリッドの情報は、作成中の帳票ファイルに保存されます。このため、グリッドの情報を変更した帳票ファイルをほかのマシンで使用したときも、同じサイズのグリッドで編集できます。

帳票を新規作成するときは、[オプション] ダイアログでの設定内容が適用されます。

[オプション] ダイアログと [レポートのプロパティ] ダイアログの両方を設定した場合は、[レポートのプロパティ] ダイアログでの設定が優先されます。

3.1.2 アイテムの位置や大きさを微調整する

マウスを使ってアイテムの貼り付け位置を移動したり、アイテムの大きさを変更したりする場合、アイテムはグリッドのマス目に合わせて移動したり、大きさが変わったりします。

グリッドのマス目よりも小さい単位で微調整したいときは、[オプション] ダイアログの [配置] タブ、または [レポートのプロパティ] ダイアログで、[アイテムをグリッド補正する] のチェックボックスをオフにします。

[アイテムをグリッド補正する] のチェックボックスをオフにすると、使用する単位の最小値で移動したりリサイズしたりできます。使用する単位ごとの最小値を次に示します。

表 3-1 使用する単位ごとの最小値

使用する単位	移動、およびリサイズの最小値
ミリメートル (mm)	0.1 ミリメートル
インチ (in)	0.01 インチ
ピクセル (px)	1 ピクセル

3.1.3 選択できるアイテムを限定する

文字、線、図形などのアイテムが重なっている場合、どれか一つのアイテムを選択しよ


3. 便利な使い方と困ったときの対処

うとしても、目的のアイテムとは別のアイテムが選択されてしまうことがあります。

重なっているアイテムの中から目的のアイテムだけを選択したい場合は、次のツールボックスを利用します。



次の手順でツールボックスを利用してアイテムを選択します。

1.  を選択して選択モードに切り替えます。
2. [文字],[線],[図形],[画像],[部品] チェックボックスで選択したいアイテムだけにチェックを入れます。
3. 選択したいアイテムをクリックします。

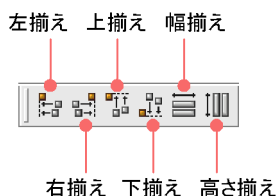
なお、同じ種別のアイテムであれば、重なり順序を変更できます。アイテムの重なりの詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

3.1.4 複数のアイテムを揃える

複数のアイテムの位置を揃えたり、高さや幅を揃えたりできます。

揃えたいアイテムをすべて選択したあと、[編集]メニューから[揃え]を選択するか、または揃えツールバーのボタンをクリックして操作します。

揃えツールバーのアイコンを次の図に示します。



揃えを指定したときに、どのアイテムに合わせて揃えられるのかを、次に示します。

表 3-2 揃えを指定したときの動作

揃えの種類	動作
左揃え	選択したアイテムのうち、X座標値がいちばん小さいアイテムに合わせて、ほかのアイテムを左に揃えます。
右揃え	選択したアイテムのうち、X座標値がいちばん大きいアイテムに合わせて、ほかのアイテムを右に揃えます。
上揃え	選択したアイテムのうち、Y座標値がいちばん小さいアイテムに合わせて、ほかのアイテムを上揃えます。

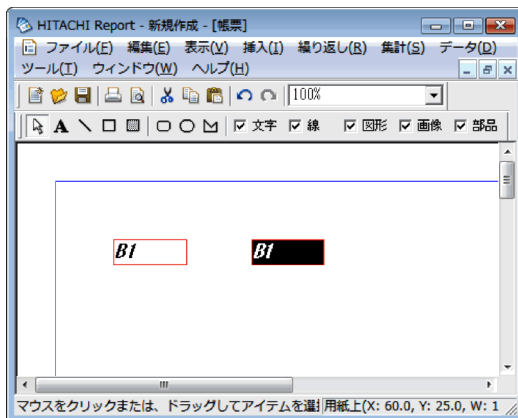
揃えの種類	動作
下揃え	選択したアイテムのうち、Y座標値がいちばん大きいアイテムに合わせて、ほかのアイテムを下へに揃えます。
幅揃え	選択したアイテムのうち、Y座標値のいちばん小さいアイテムの幅に合わせて、ほかのアイテムの幅を揃えます。 Y座標値がすべて同じであれば、X座標値のいちばん小さいアイテムの幅に合わせてます。
高さ揃え	選択したアイテムのうち、Y座標値のいちばん小さいアイテムの高さに合わせて、ほかのアイテムの高さを揃えます。 Y座標値がすべて同じであれば、X座標値のいちばん小さいアイテムの高さに合わせてます。

揃えツールバーが表示されていない場合は、[ツールバー] ダイアログで [揃え] チェックボックスにチェックを入れる则表示されます。[ツールバー] ダイアログは、[表示] メニューから [ツールバー] を選択すると表示されます。

3.1.5 属性をコピーする

データウィンドウから貼り付けた複数のアイテムに同じ属性を設定したいときは、次の手順で属性をほかのアイテムに引き継ぐことができます。

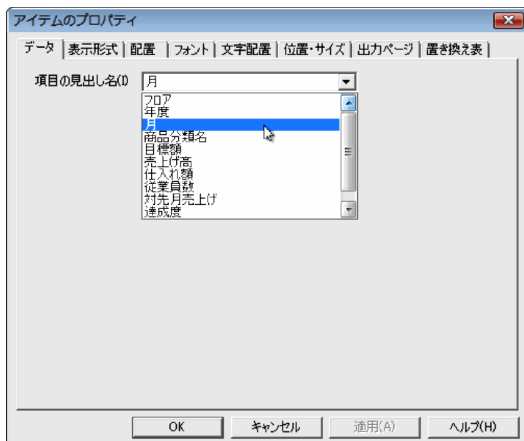
1. アイテムを一つ貼り付けます。
2. [アイテムのプロパティ] ダイアログで、書式などの属性を変更します。
ここでは、文字の書式を太字および斜体に変更します。
3. アイテムをコピーします。
この時点では、同じアイテムがコピーされます。



4. コピーしたアイテムを選択してから、[アイテムのプロパティ] ダイアログの [データ] タブを表示します。
5. [データ] タブの [項目の見出し名] ドロップダウンリストから、属性をコピーしたいアイテムのフィールド名を選択します。

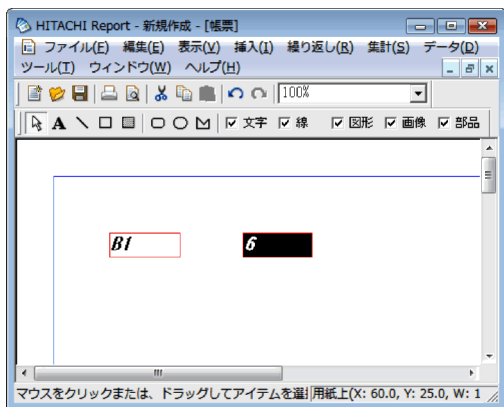
3. 便利な使い方と困ったときの対処

項目の見出し名には、貼り付けたアイテムにリンクするフィールド名が表示されています。フィールド名を変更することで、貼り付けたアイテム自体を変更できます。



6. [OK] ボタンをクリックします。

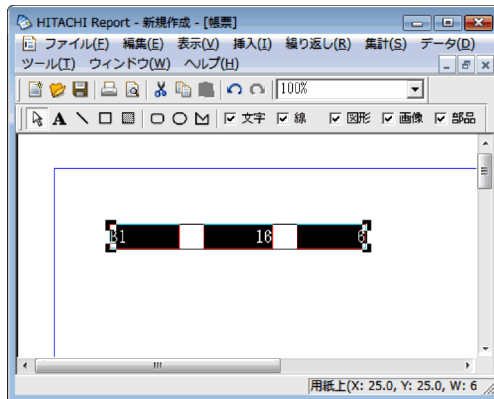
属性はコピーされたままで、アイテムが変更されます。



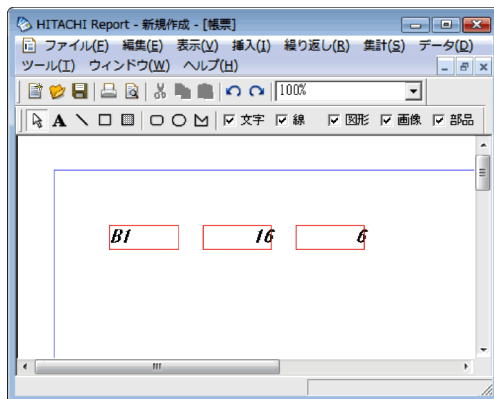
3.1.6 複数のアイテムの属性を一度に設定する

複数のアイテムの属性を一括して変えたい場合は、次の手順で属性を変更できます。

1. 属性を変えたいアイテムをすべて選択します。



2. [アイテムのプロパティ] ダイアログで、書式などの属性を変更します。
ここでは、文字の書式を太字および斜体に変更します。
3. [アイテムのプロパティ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。
次の図のように、選択したすべてのアイテムの属性が変更されます。



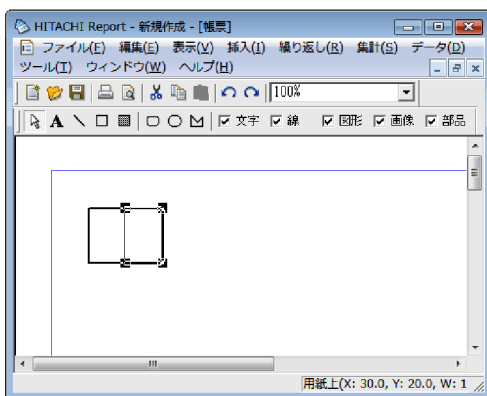
3.1.7 罫線（矩形線）を引き伸ばす

罫線（矩形線）を引き伸ばしたい場合は、引き伸ばしたい罫線の一部を選択して引き伸ばすことができます。

矩形線を引き伸ばす手順を次に示します。


1. 矩形線を引きます。
2. 矩形線の一部を選択します。

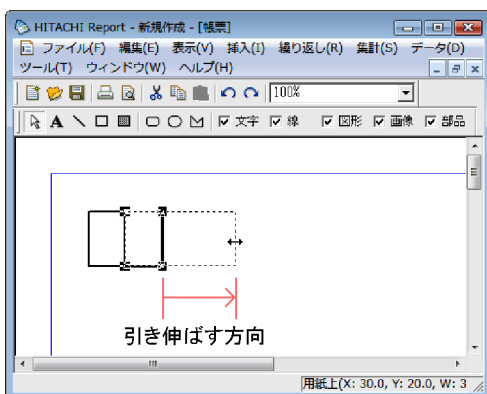
3. 便利な使い方と困ったときの対処



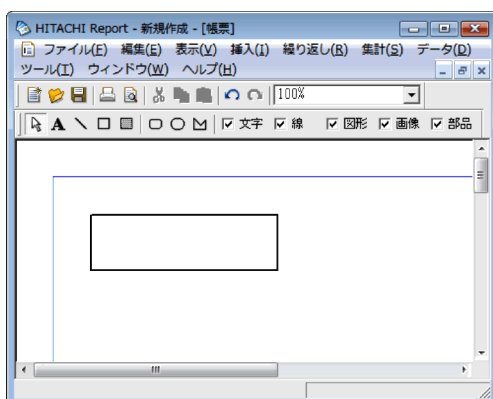
 : 選択した範囲

3. 矩形線を引き伸ばします。

カーソルが  に変化してから引き伸ばしてください。



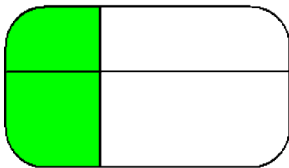
矩形線以外の場所をクリックして選択を解除すると、次の図のように全体が引き伸ばされた状態になります。




3.1.8 図形アイテムの一部に色を付ける

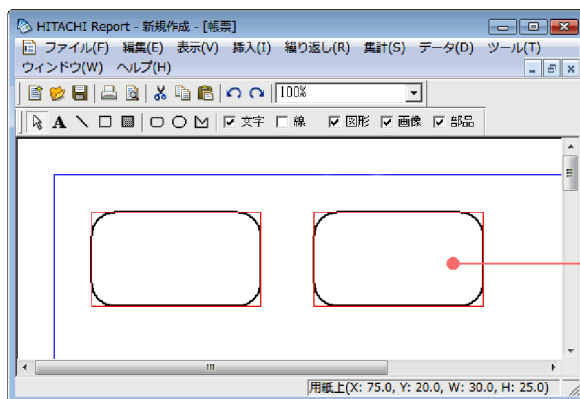
記入フォームなどを作成する場合、図形の一部に色を付けたり、図形と罫線を合わせたりして目立たせることがあります。EUR では複数の図形アイテムや線アイテムを組み合わせて、一部に色の付いた図形を作ることができます。

次の図形を例に取って説明します。



この図形は、次の手順で作成できます。

1. ツールボックスの  をクリックして、角丸四角アイテムを作成します。
2. 1. で作成した角丸四角アイテムをコピーします。

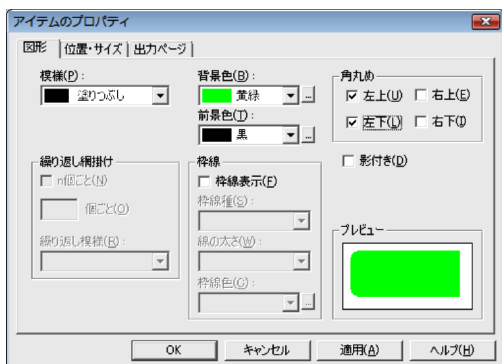


コピーした
角丸四角アイテム

コピーした角丸アイテムは、手順 3. で加工してコピー元の角丸四角アイテムに重ねます。

3. コピーした角丸四角アイテムの [アイテムのプロパティ] ダイアログを開き、次のように設定します。

3. 便利な使い方と困ったときの対処



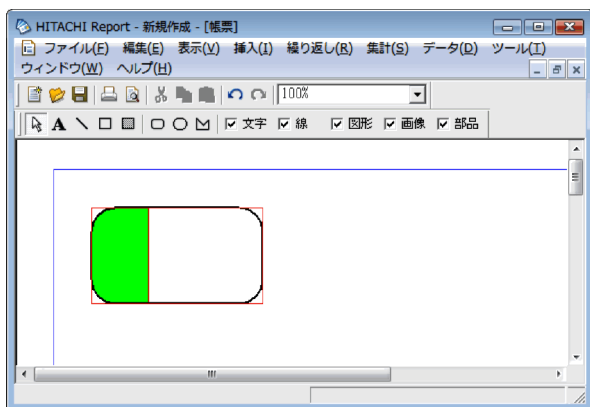
- [模様] ドロップダウンリストを「塗りつぶし」に設定します。
- [背景色] ドロップダウンリストを「黄緑」に設定します。
- [角丸め] グループボックスで, [右上] チェックボックスと [右下] チェックボックスをオフにします。
- [枠線] グループボックスで, [枠線表示] チェックボックスをオフにします。
枠線を表示していると, 図形を重ねたときに重なった個所の線が太くなる場合があります。

4. 色を付けた角丸四角アイテムを横方向に縮小します。

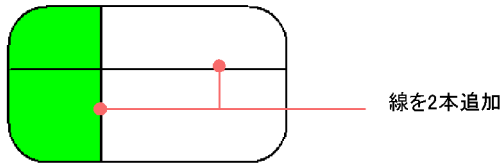
色を付けたい部分の大きさに変更します。

5. [編集] メニューから [揃え] を選択するか, または揃えツールバーのボタンをクリックして, 二つの角丸四角アイテムを揃えます。

左揃え, および上揃えを選択するときれいに揃えられます。



6. 線アイテムを追加します。



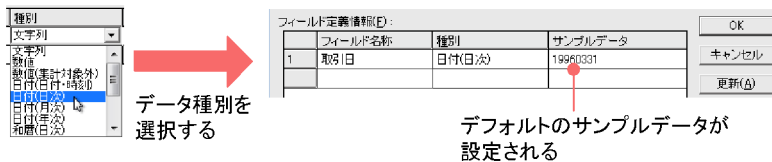
3.1.9 データを準備する前に帳票を作成しておく

CSVなどのデータはまだ準備できないけれど、帳票のフォーマットは先に作成しておきたい場合、サンプルのデータを使用して帳票を作成できます。

ここでは、マッピングデータウィンドウでサンプルのデータを作成します。

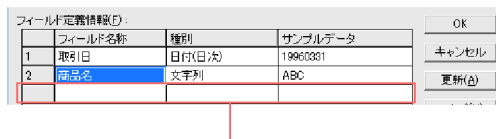
サンプルのデータを作成する手順を次に示します。

1. マッピングデータウィンドウをクリックしてアクティブにします。
2. [データ]メニューから[フィールド定義]を選択します。
[フィールド定義]ダイアログが表示されます。
3. [フィールド名称]のセルに、直接フィールド名を入力します。
4. [種別]のセルをクリックして表示される一覧から、データ種別を選択します。
データの種別を設定すると、[サンプルデータ]のセルに、デフォルトのデータが設定されます。



デフォルトのデータの詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。デフォルトのデータは、必要に応じて、直接入力して修正することもできます。

5. 続けてフィールドを追加します。
新たなフィールド名を記入して < Enter > キーを押すと、行が追加されていきます。



フィールド名称を記入して < Enter > キーを押すと、行が追加される。

6. [OK] ボタンをクリックします。
マッピングデータウィンドウに 100 レコード分のサンプルデータが表示されます。

3. 便利な使い方と困ったときの対処



	取引日	商品名	個数	金額	納品日	取引先10
1	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
2	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
3	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
4	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
5	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
6	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
7	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
8	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
9	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC
10	19960331	ABC	123	123	19960331	ABC

上記の方法以外にも、CSV形式ファイルで作成した仮のデータを利用してサンプルデータを作成することもできます。詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

なお、すでに作成したフィールドの間に新しいフィールドを挿入したり、不要なフィールドを削除したり、サンプルデータの個数を変更したりすることもできます。それぞれの手順を次に示します。

フィールドを挿入したい場合

フィールドとフィールドの間に新しいフィールドを挿入できます。フィールドを挿入したい場合は、次のように操作してください。

1. [フィールド定義]ダイアログで、フィールドを追加する位置の直後のフィールド番号（セルの左側の番号）をクリックします。
2. [挿入]ボタンをクリックします。
フィールドが追加されます。

フィールドを削除したい場合

フィールドを削除したい場合は、次のように操作してください。

1. [フィールド定義]ダイアログで、削除するフィールド番号を選択します。
2. [削除]ボタンをクリックするか、または < Delete > キーを押します。
フィールドが削除されます。

サンプルデータ数を変更したい場合

作成するサンプルデータの数は変更できます。サンプルデータの数を変更する場合は、次のように操作してください。

1. [データ]メニューから[データのプロパティ]を選択します。
[データのプロパティ]ダイアログが表示されます。
2. [データのプロパティ]ダイアログの[データ情報]タブの[データ数]スピンボックスで、サンプルデータ数を設定します。

3.1.10 文字アイテム配置時のフォントサイズを指定する

文字アイテムを直接入力したり、マッピングデータウィンドウから帳票ウィンドウにデータを貼り付けたりするとき、文字アイテムのフォントサイズは、デフォルトで12ポイントに設定されています。文字アイテム配置時のデフォルトのフォントサイズを変更したいときは、次の手順で設定を変更できます。

1. [ツール]メニューから [オプション] を選択します。
[オプション]ダイアログが表示されます。
2. [文字]タブの [サイズ] コンボボックスで、フォントサイズを変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。
文字アイテム配置時のデフォルトのフォントサイズが変更されます。

3.1.11 データウィンドウ上のデータの表示サイズを変更する

データウィンドウに表示されるデータの表示フォントサイズは、デフォルトで9ポイントに設定されています。データの表示フォントサイズは変更できます。フォントを小さくしてウィンドウ内にたくさんのデータを表示したり、フォントを大きくしてデータを見やすくしたりできます。

データウィンドウに表示されるデータのフォントサイズを変更する手順を次に示します。

1. [ツール]メニューから [オプション] を選択します。
[オプション]ダイアログが表示されます。
2. [データウィンドウ]タブの [サイズ] コンボボックスで、フォントサイズを変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。
データウィンドウに表示されるデータのフォントサイズが変更されます。

3.2 困ったときの対処

3.2.1 先頭レコードにフィールド名を含むデータの読み込み方を間違えたとき

データを新規に読み込む場合、先頭レコードにフィールド名を含むデータを読み込むときは、[データのプロパティ] ダイアログで、「1行目のデータをフィールド名として扱う」を指定する必要があります。「1行目のデータをフィールド名として扱う」を指定しないと、次の図のようにフィールド名がデータの1行目として読み込まれてしまいます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	B1	18	12	PCアクセサリ	1500	1800	1000	2
3	B1	18	12	スキャナー	3500	3100	2000	3
4	B1	18	12	パソコン	4000	4050	3600	1
5	B1	18	12	音楽プレイヤー	1000	1000	750	1
6	B1	18	12	デジタルカメラ	1200	1300	900	2
7	B1	18	12	プリンター	2800	2500	2200	1
8	B1	18	12	電子辞書	5000	6000	2500	2
9	B1	18	12	シェーバー	750	850	800	1
10	IF	18	12	冷蔵庫	2500	2400	2000	2

フィールド名がデータの1行目として読み込まれている

この場合は、次のように操作してください。

- [データ]メニューから[データのプロパティ]を選択します。
[データのプロパティ]ダイアログが表示されます。
- [区切り情報]タブを選択します。
- 「1行目のデータをフィールド名として扱う」を指定して、[OK]ボタンをクリックします。
[OK]ボタンをクリックすると、次の図のようにマッピングデータウィンドウには何も表示されなくなります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

- [データ]メニューから[フィールド定義]を選択します。
[フィールド定義]ダイアログが表示されます。
- [自動作成]ボタンをクリックします。
[フィールド定義情報自動作成]ダイアログが表示されます。
- [データファイルから作成]オプションボタンを選択して、[OK]ボタンをクリック

します。

7. [フィールド定義情報自動作成] ダイアログに戻ります。「フィールド定義情報」にフィールド名が表示されていることを確認してください。
8. [OK] ボタンをクリックします。
マッピングデータウィンドウ上で、フィールド名が正しく読み込まれた状態になります。

	フロア	年度	月	商品分類名	目標額	売上げ高	仕入れ額	従業員数
1	E1	18	12	PCアクセサリ	1500	1800	1000	2
2	B1	18	12	スキャナー	3500	3100	2000	3
3	B1	18	12	パソコン	4000	4050	3800	1
4	B1	18	12	音楽プレーヤー	1000	1000	750	1
5	B1	18	12	デジタルカメラ	1200	1300	900	2
6	B1	18	12	プリンター	2000	2500	2200	1
7	B1	18	12	電子辞書	5000	6000	2500	2
8	B1	18	12	シェーバー	750	850	600	1
9	1F	18	12	冷蔵庫	2500	2400	2000	2
10	1F	18	12	洗濯機	3000	3100	2500	1

3.2.2 マッピングデータの読み込み先を間違えたとき

ユーザ定義データウィンドウにマッピングデータを読み込んだ場合、データはマッピングデータウィンドウから貼り付ける場合と同様に帳票ウィンドウに貼り付けられますが、繰り返すことはできません。

この場合は次のように操作して、マッピングデータウィンドウにデータを読み込み直してください。

1. [データ]メニューから[データのプロパティ]を選択します。
[データのプロパティ]ダイアログが表示されます。
2. [データ情報]タブの[データファイル名称]から、指定したデータファイルの名称を削除します。
3. [OK] ボタンをクリックします。
「データファイル名が指定されていません。」というメッセージが表示されるので、もう一度[OK] ボタンをクリックします。
4. マッピングデータウィンドウをアクティブにして、再度データファイルを指定します。

なお、すでにユーザ定義データウィンドウからデータを貼り付けていた場合は、必ず帳票ウィンドウに貼り付けたアイテムを削除してください。

3.2.3 網掛けアイテムに設定した色が確認できないとき

繰り返した網掛けアイテムに白黒以外の色を付けた場合、帳票ウィンドウ上では黒色で表示されます。実際に色が付いたかどうかを確認するには、表示を編集モードからレイアウトモードに切り替えて確認してください。

3. 便利な使い方と困ったときの対処

レイアウトモードにして確認するには、[表示]メニューから[レイアウト]を選択してください。

索引

数字

1 行目のデータをフィールド名として扱う
15

E

EUR 帳票作成機能で帳票を作成する手順 10
EUR 帳票作成機能とは 2
EUR を起動する 13

あ

アイテムの位置や大きさを微調整する〔便利な使い方〕 47
アイテムの繰り返し 26
アイテムを組み合わせて部品化する 40
アイテムを貼り付ける位置の目安を表示する〔便利な使い方〕 46
網掛けアイテムに設定した色が確認できないとき〔困ったときの対処〕 59
網掛けアイテムの繰り返し 32

い

印刷日付アイテムの装飾 23
印刷日付アイテムの配置 22

き

基本的な使い方
 帳票の見た目を整える 7
 データを用意する 4
 データをレイアウトする 5

く

区切り情報の設定 15
繰り返し 26
繰り返し定義 26
繰り返すアイテムの定義 26

け

罫線（矩形線）を引き伸ばす〔便利な使い方〕 51

こ

この例題で作成する帳票 10
困ったときの対処 58
 網掛けアイテムに設定した色が確認できないとき 59
 先頭レコードにフィールド名を含むデータの読み込み方を間違えたとき 58
 マッピングデータの読み込み先を間違えたとき 59
コンマやスペース等区切り文字でデータを区切る 16

し

指定した区切り位置でデータを区切る 16
集計行の追加 35
集計行の編集 36

す

図形アイテムの一部に色を付ける〔便利な使い方〕 53
図形アイテムの配置 22

せ

線アイテムの配置 21
線アイテムを選択するときのポイント 21
選択できるアイテムを限定する〔便利な使い方〕 47
先頭レコードにフィールド名を含むデータの読み込み方を間違えたとき〔困ったときの対処〕 58

そ

属性をコピーする〔便利な使い方〕 49

ち

帳票ウィンドウ 13
帳票の確認と印刷 42
帳票の保存 42
帳票の見た目を整える〔基本的な使い方〕 7
帳票を確認、印刷、および保存する 42
帳票を作成してみよう 9
帳票を作成する流れ 12

つ

ツールボックス 13

て

データウィンドウ上のデータの表示サイズを変更する〔便利な使い方〕 57
データファイル区切り方法の設定 15
データファイルの選択 15
データを集計する 35
データを準備する前に帳票を作成しておく〔便利な使い方〕 55
データを用意する〔基本的な使い方〕 4
データを読み込む 15
データをレイアウトする〔基本的な使い方〕 5

ひ

表のブロック分け 29
表を作成する 26
表を装飾する 31

ふ

フィールド 17
フィールド定義情報の設定 17
複数のアイテムの属性を一度に設定する〔便利な使い方〕 50
複数のアイテムを揃える〔便利な使い方〕 48

へ

便利な使い方 46
アイテムの位置や大きさを微調整する 47
アイテムを貼り付ける位置の目安を表示する 46
罫線（矩形線）を引き伸ばす 51
図形アイテムの一部に色を付ける 53
選択できるアイテムを限定する 47
属性をコピーする 49
データウィンドウ上のデータの表示サイズを変更する 57
データを準備する前に帳票を作成しておく 55
複数のアイテムの属性を一度に設定する 50
複数のアイテムを揃える 48
文字アイテム配置時のフォントサイズを指定する 56

ま

マッピングデータウィンドウ 13
マッピングデータの読み込み先を間違えたとき〔困ったときの対処〕 59
まとめ表示 31

み

見出しの定義 28

も

文字、線、図形、および印刷日付を配置する 19
文字アイテムの配置 19
文字アイテム配置時のフォントサイズを指定する〔便利な使い方〕 56
文字の表示形式の設定 24

よ

用紙を設定する 14

ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内

1. マニュアル情報ホームページ

ソフトウェアマニュアルの情報をインターネットで公開しています。

URL <http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/>

ホームページのメニューは次のとおりです。

マニュアル一覧	日立コンピュータ製品マニュアルを製品カテゴリ、マニュアル名称、資料番号のいずれかから検索できます。
CD-ROMマニュアル	日立ソフトウェアマニュアルと製品群別CD-ROMマニュアルの仕様について記載しています。
マニュアルのご購入	マニュアルご購入時のお申し込み方法を記載しています。
オンラインマニュアル	一部製品のマニュアルをインターネットで公開しています。
サポートサービス	ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開サービスを記載しています。
ご意見・お問い合わせ	マニュアルに関するご意見、ご要望をお寄せください。

2. インターネットでのマニュアル公開

2種類のマニュアル公開サービスを実施しています。

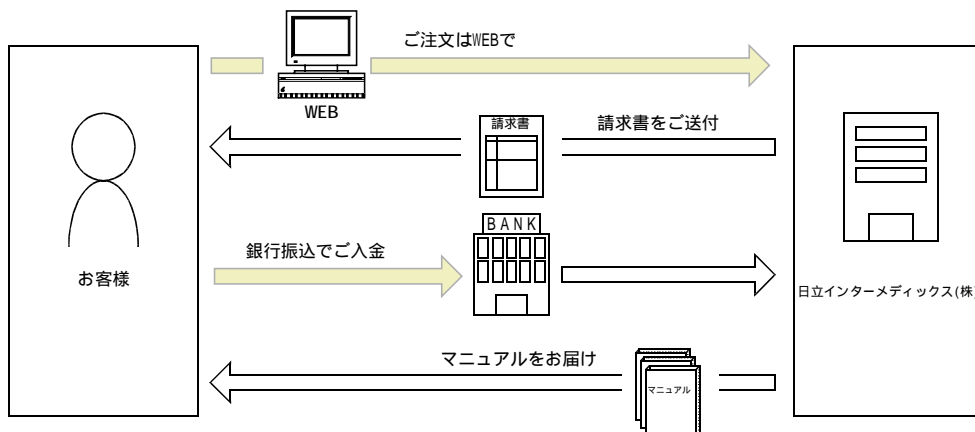
(1) マニュアル情報ホームページ「オンラインマニュアル」での公開

製品をよりご理解いただくためのご参考として、一部製品のマニュアルを公開しています。

(2) ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開

ソフトウェアサポートサービスご契約のお客様向けにマニュアルを公開しています。公開しているマニュアルの一覧、本サービスの対象となる契約の種別などはマニュアル情報ホームページの「サポートサービス」をご参照ください。

3. マニュアルのご注文



マニュアル情報ホームページの「マニュアルのご購入」にアクセスし、お申し込み方法をご確認のうえWEBからご注文ください。ご注文先は日立インターメディアックス(株)となります。

ご注文いただいたマニュアルについて請求書をお送りします。

請求書の金額を指定銀行へ振り込んでください。

入金確認後7日以内にお届けします。在庫切れの場合は、納期を別途ご案内いたします。